

タイ・ウボン職業訓練センター
計画打合せ調査団報告書

平成4年6月

国際協力事業団

社協二
JR
92-007

タイ・ウボン職業訓練センター
計画打合せ調査団報告書

平成4年6月



JICA LIBRARY



1105690101

25132

タイ・ウボン職業訓練センター

計画打合せ調査団報告書

平成4年6月

国際協力事業団

国際協力事業団

25132

序 文

タイ国政府は経済社会開発5カ年計画において、農業国から工業国への転換を図り、雇用機会の創出・拡大、地域間所得の格差の是正等を目的とした政策を推進している。特に第5―6次5カ年計画においては、農村地域の所得の増大を図り、地方開発のために出来るだけ多くの未就労者が雇用及び自営の機会を得ることができるよう効果的な職業訓練による人造りに力点を置いている。

このような背景から、タイ国政府務内務省労働局は、最も開発の遅れている東北タイ南部地域の未就労者を主たる対象者とした技能労働者の育成のため、ウボン職業訓練センター(UBISD)の設立を計画し、我が国に無償資金協力及び技術協力を要請してきた。

これを受けて当事業団は、昭和61年3月予備調査団、同年7月事前調査団を派遣してプロジェクトの心要性の確認・訓練計画の方向付けを行うとともに、無償資金協力については同年11月に基本設計調査団、昭和62年3月ドラフト説明調査団を派遣した。さらにプロジェクト方式技術協力の内容ならびに妥当性の確認調査の為昭和61年7月及び昭和62年6月に長期調査員、昭和63年3月に事前調査団を派遣し、本件協力の実施につき先方と協議を重ねた結果、昭和63年4月に派遣した実施協議調査団が、討議議事録(R/D)を締結、同年10月1日より5年間の技術協力を開始した。

その後、平成元年8月に計画打ち合わせ調査団、平成2年6月に巡回指導調査団を派遣してプロジェクトの進捗状況の確認等を実施した。

今般、各分野の技術移転状況の中間評価を行い、UBISDにおいて本年度協力期間を終了する分野においては終了後の対応について調査協議決定し、一方中央職業訓練センター(NISD)においては今後の具体的協力方針を策定することを目的として、平成3年6月19日から同年6月28日まで計画打ち合わせ調査団を派遣した。

本報告書は、この調査結果を取り纏めたものである。

最後に、本件調査に多大なご協力を頂いた関係各位に対し、心より感謝の意を表するとともに今後のご支援をお願いする次第である。

平成3年7月

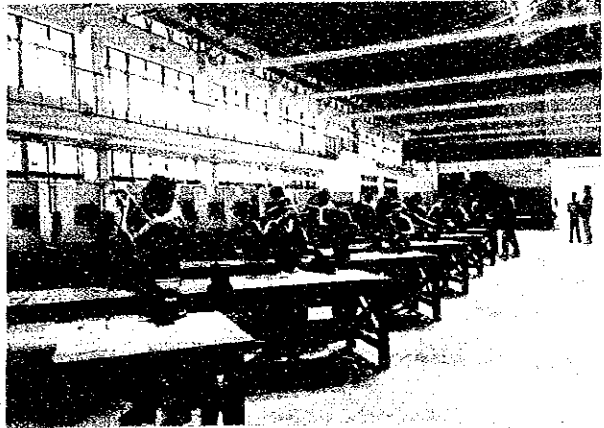
国際協力事業団
社会開発協力部
部長 中村 信



◀ウボン職業訓練センターにて
前列左より 藤澤団員、プリチャイ所長
原中団員、丸島団員

後列左から 二人目 松原団員
三人目 木村団員

ウボン職業訓練センターの視察▶



目 次

序文

写真

1. 計画打合せ調査団の派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者	3
2. 調査結果要約	5
3. プロジェクトの進捗状況	7
3-1 UBISD	7
3-1-1 訓練実施状況及び訓練実施体制	7
3-1-2 退校者数とその理由他	8
3-1-3 技術移転状況及び教材開発状況	25
3-2 NISD	44
3-3 専門家派遣実績	53
3-4 カウンターパート研修員受入れ実績	54
3-5 機材供与実績	55
3-6 ローカルコスト負担実績・計画	55
4. 実施運営上の問題点	57
4-1 UBISD	57
4-2 NISD	58
4-3 チーフアドバイザーの勤務地変更	59
4-4 カウンターパートの確保地	59
4-5 その他	59
5. ミニッツ	61

付属資料	67
1. カウンターパートの配置状況	69
(1) UBISD	69
(2) NISD	73
2. タイ国現行教育システム	75
3. タイ国における職業訓練と DOL の役割	76
4. プロジェクト予算	77
5. UBISD 養成訓練統計資料	79

1. 計画打合せ調査団の派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

本プロジェクトは、UBISD (Ubon Institute for Skill Development, ウボン職業訓練センター) において、東北タイ南部地域における青少年を対象に職業訓練を実施することにより技能労働者の育成を図るとともに、タイ国における職業訓練センターの指導的役割を果たしている NISD (National Institute for Skill Development, 中央職業訓練センター) において指導員の全体的なレベルアップのために訓練内容・指導技法の見直し、各種教材開発及び技術的向上を図ることにより、タイ国の産業及び社会の発展に資することを目的としている。

昭和61年3月正式要請を受け「予備調査団」を派遣、その後昭和62年に無償資金協力が実施された。昭和63年4月8日 R/D が署名され、昭和63年10月1日より5年間の協力期間で本プロジェクトは開始された。

本年度は協力開始3年目の中間評価の年に当たるため、各分野の技術移転状況を評価するとともに、UBISD において本年度協力期間を終了する分野については終了後の対応について調査・決定し、NISD における今後の具体的協力方針を策定することを目的として計画打ち合わせ調査団の派遣に至ったものである。

1-2 調査団の構成

総括	：原中 祐生	雇用促進事業団 職業能力開発企画部 部長
訓練計画	：松原 伸夫	労働省 職業能力開発局海外協力課 海外訓練協力官
機械	：丸島 賢	雇用促進事業団 高度開発技能センター 西千葉分所指導課
電気・電子	：木村 陽一	雇用促進事業団 職業能力開発企画部 海外協力専門役
協力企画	：藤沢ひろみ	国際協力事業団 社会開発協力部社会開発協力第二課職員

1-3 調査日程

日順	月 日	行程	調査内容	
			午前	午後
1	6/19(水)	東京→→バンコック	移動	日本人専門家と日程打合せ
2	/20(木)	バンコック→ウボン	大使館、JICA、NISD 表敬訪問	DTEC表敬訪問 移動 ウボン県副知事主催夕食会
3	/21(金)	ウボン	UBISD 施設見学 専門家チームからのヒアリング	C/P からのヒアリング
4	/22(土)	ウボン	専門家チームからのヒアリング	調査団主催昼食会 資料整理
5	/23(日)	ウボン→バンコック	資料整理	移動
6	/24(月)	バンコック	NISD施設見学 タイ側と協議	タイ側と協議 DOL 局長主催夕食会
7	/25(火)	バンコック	タイ側と協議	タイ側と協議
8	/26(水)	バンコック	ミニッツ準備	ミニッツ署名 調査団主催夕食会
9	/27(木)	バンコック	大使館、JICA 帰国 報告	帰国準備
10	/28(金)	バンコック→→東京	移動	移動

1-4 主要面談者

(1) タイ側

総理府 経済技術協力局 (DTEC, Department of Technical & Economic Cooperation)

Ms. Tipsuda Nopmongcol Chief of Japan Division

内務省労働局 (Department of Labour, Ministry of Interior)

Mr. Prasong Nararand Director General

Ms. Amporn Junenanond Deputy Director General

Ms. Surat Suksaengsri Senior Officer, International Labour Affairs Division

中央職業訓練センター (NISD, Department of Labour, Ministry of Interior)

Ms. Nitasna Theeravit Director

Ms. Areeya Rodjanavithi Chief of Planning & Curriculum Development Branch

Ms. Rachanee Suwatee Chief of Instructor Development & In-plant Training Branch

Mr. Udom Kednaratkul Chief of Instructor Development Unit, Instructor Development & In-plant Training Branch

Mr. Noppadol Rodruangdujh Chief of Planning & Project Unit Planning & Curriculum Development Branch

Ms. Panida Thanaporn Officer

ウボン職業訓練センター (UBISD, Department of Labour, Ministry of Interior)

Mr. Preecha Srithunya Director

Ms. Dungchan Chairaj Chief of In-Plant & Special Training Branch

Mr. Tanat Srina Chief of Machine Work Shop

Mr. Surapol Pochimueng Chief of Auto-motive Work Shop

Mr. Sathaporn Kethkaruda Chief of Building Construction Work Shop

Mr. Narong Cheumburnrod Chief of Electrical & Electronics Work Shop

Ms. Chuthamart Boonash Chief of Coordination Branch

Mr. Chaiprakan Puangtai Chief of Administration Branch

Ms. Keayoon Kanarungreung Chief of Planning & Evaluation Unit, Coordination Branch

Ms. Vipathip Kumnate

Officer, Planning & Evaluation Unit, Coordina-
tion Branch

ウボン県関係者

Mr. Chartsaga Moreechart

Dputy Governor of Ubon Rachathani

Mr. Chalad Suvanapong

Chief of Labour Office in Ubon Rachathani

(2) 日本側

日本大使館

加茂 佳彦 一等書記官

JICA タイ事務所

阿部 信司 所長

石渡 徳久 所員

内務省労働局 (Department of Labour, Ministry of Interior)

森崎 雅樹

2. 調査結果要約

UBISDにおいては、全体的には技術移転時間が少ない状況のなかで、施設内も整備され、養成訓練自体は順調に運営されており、日本人専門家の指導及び対人関係における努力が感じられた。

NISDにおいても、全般的な評価としては、これまでの日本人専門家の技術移転状況にタイ側も満足しており順調に進展している。

(1) 技術協力期間の延長

調査団は、タイ側からプロジェクトの進捗状況の報告を受け、ほぼ順調に進んでいることを確認した。

しかしながら、向上訓練、移動式訓練の需要が多く、カウンターパート (C/P) への技術移転時間の確保が困難になっている現状から、予定された技術移転が1991年12月までに終了しないと予測されるので、協力期間3年の下記の科についての延長の要請がタイ側から出され、協議を通じて、現状から下記の科の技術協力期間を1993年9月30日まで延長することを合意した。

- ① 農業機械 ② 車体修理 ③ 自動車整備

これに関して調査団は、タイ側に対して、次の事項に関して必要な措置をとるよう要請した。

- 1) 養成訓練に重点を置いたカウンターパート (C/P) への技術移転を促進するため、十分な時間と機会の確保。
- 2) 協力中のすべての訓練科について協力期間終了までに技術移転が完了するよう具体的技術移転計画の作成。

(2) タイ側カウンターパート (C/P) の配置

タイ側は、カウンターパート (C/P) の配置状況を確認し、現在、下記の科について欠員を満たす努力をしていると述べた。

- ① 機械 ② 電子 ③ セラミック (建築)

調査団は、これに関し、カウンターパート (C/P) の配置の遅れは、技術移転に重大な障害をもたらすものであると述べ、タイ側に対して、上記カウンターパート (C/P) の早急な配置を強く要請した。

(3) 長期専門家の追加派遣

タイ側は NISD の供与機材が、日本人専門家からの技術移転によって、十分活用され

るため、NISDの機械分野の専門家の派遣を要請し、また、機械専門家のカウンターパート(C/P)として、指導員訓練科から2名配置する準備があると述べた。これに関し、調査団は、正式要請があれば、NISDの機械分野の専門家を派遣する用意がある旨答え、タイ側に対して今後のNISDにおける機械及び電子分野の指導訓練、教材開発分野の協力について具体的計画を立てるよう要請した。

(4) チーフアドバイザーと調整員のNISDへの移転

1988年4月8日にサインされたミニッツに書かれているチーフアドバイザーと調整員のUBISDからNISDへの移転について話し合った結果、日本とタイの両者は、UBISDでのプロジェクトの実施が軌道にのってきたこと及びプロジェクトの残り期間にUBISDとNISD間の訓練をより一層連携させる必要があるため、チーフアドバイザーのNISDへの移動について合意した。

(5) プロジェクト予算

タイ側は、既にプロジェクトのための予算を獲得しているところであるが、調査団はタイ側による努力に謝意を表明すると共に、訓練資材の不足をカバーすべく財政的な支援を続けるよう希望した。

(6) その他

タイ側は、日本人専門家とカウンターパート(C/P)が教材、訓練コースの開発のために産業界からの訓練ニーズを調査する努力をするよう強調した。

3. プロジェクトの進捗状況

3-1 UBISD

3-1-1 訓練実施状況及び訓練実施体制

(1) 養成訓練

1) UBISDでは、13の訓練コースの養成訓練を実施しており、第1期(1989年6月～1990年5月)には、1,494人の応募があり、333人が合格した。

また、第II期(1990年6月～1991年5月)には1,139人の応募があり、合格者は344人であった。

現在実施中である第III期(1991年6月～1992年5月)には、950人の応募があり、319人が合格し、第II期にはすべての科でR/D定員を超えた養成訓練を実施した。

第III期の各科別の競争率をみると、自動車整備科が7.56倍と最も高く、次いで電気科、電子科が5.50倍となっている一方で、セラミック科、現場監督助手科(我方協力対象外)等では低くなっており、一部の分野では、応募者が減少する傾向にある。

2) 訓練校での10カ月訓練終了者は、第I期282人(合格者の84.7%)、第II期302人(合格者の87.8%)となっており、第II期の各科別では、車体修理工科、自動車整備科、機械科、セラミック科、農業機械化、電子科、電気科の長期専門家を派遣している課程を中心に、終了率が90%を超えている。

また、その後の企業内訓練(2カ月)を終了し全課程を終了した者は、1期264人(合格者の79.3%)、第II期288人(合格者の83.7%)となっており終了率は若干の上昇がみられる。第II期の各科別では、車体修理工科、機械科、自動車整備科、農業機械科、電気科の終了率が高い。

3) 就職状況をみると、第I期185人(終了者の70.1%)、第II期219人(終了者の76.0%)となっており、第II期の各科別では、セラミック科、塗装科では100%であったのをはじめ、家具製作科(95.2%)機械科(92.9%)で就職率が90%を超えている。

(2) 向上訓練

これまでに、第1回(1989年7月25日～8月26日)、第2回(1989年11月7日～12月16日)、第3回(1990年11月14日～12月27日)の3回にわたり、16歳以上で応募職種の実験があり現在雇用されている者を対象として、18:00～20:00の時間帯で、機械系(R/D定員年45人)で第1回、終了者26人、第2回30人、第3回11人の延べ67人、溶接系(R/D定員年30人)で第1回、9人、第2回41人、27人、第3回10人の延べ46人、自動車整備系(R/D定員年60人)で第1回、終了者73人、第2回、69人、第3回70人の延べ212人、

電気・電子系（R/D定員年45人）で第1回，終了者12人，第2回41人，第3回28人の延べ81人，建築系（R/D定員年30人）で第1回，29人，第2回，37人，第3回28人の延べ94人の向上訓練が実施された。

(3) 移動式訓練

僻地の就労適齢者を対象として，バス・トレーラー等に訓練機材を搭載して訓練ニーズのある地域に行き，その村々で修理等の実習を指導し，向学心のある青年に対しては，ウボンの訓練コースに入学できる機会をあたえるもので，機械系，自動車整備系，電気系，建築系，で行われている。特に自動車系の需要が大きく，90年度には延べ20回実施し，481人の終了者をみた。

特に自動車系では，移動式訓練の増大が，技術移転時間の減少につながり支障となっているといった専門家の意見があり，その改善が大きな問題となっている。

3-1-2 退校者数とその理由他

UBISDにおける養成訓練課程の退校者数は，第I期入校者333名中69人，第II期入校者344名中57人，となっており，やや減少をみた。

第I期退校者51人（10カ月訓練終了（282人）前に退校した者）についてその原因をみると，終了不合格2人（3.9%），就職した者12人（23.5%），病気1人（1.9%），態度不良9人（17.6%），出席不足27人（52.9%）となっている。このうち最も高い割合を占める出席不足もほとんど経済的理由によるものである。

一般に，訓練生の受講には，1カ月500～800バーツ（食費等）の負担となりある程度余裕のある家庭でなければ，受講させられないことになる。（デパートの店員の賃金約2,000バーツである。）訓練生が未熟練であっても2,000バーツの賃金は得られることから，やはり経済的理由が退校理由の大半を占めると言えよう。

養成訓練合格者の出身地は，地元ウボン・ラチャタニ県が第I期には81.7%であったが，第III期には，59.9%に低下しており，徐々に他のイサーン地区からの応募が増加している。

しかしながら，終了者の就職先は，周辺のイサーン地区各県への定着は約50%にとどまっており，賃金の高いバンコク地区への流出傾向がみられる。

C/Pによる訓練は，実習，座学とも専門家がついていなくても高度な分野の理解，機材のメンテナンス，教材開発の面を除いて実施できる状態にある。

しかしながら，C/Pによる座学の訓練では，教科書の種類及び絶対数が不足しており，C/Pが課題を黒板に書いて訓練生に与えたまま，教室を出ることが多いなど，訓練生の理解に応じた訓練指導，到達度に関する訓練評価，フォローアップなどに対する理解に乏しい状態に

あり、教科書等の座学教材の整備とともに、訓練実施に関する理念的な面での技術移転の促進が望まれる。

UBISD 訓練実施状況

養成訓練 (Pre-Employment Training Course)

訓練コース	協力期間
① 機械加工	4年 (長期専門家)
② 板金・溶接	3年 (短期専門家)
③ 自動車整備	5年 (長期専門家)
④ 農業機械	5 (長期専門家)
⑤ 車体修理	5年 (長期専門家)
⑥ 電 気	4年 (長期専門家)
⑦ 電 子	4年 (長期専門家)
⑧ 冷凍・空調	4年 (長期専門家)
⑨ 家具製作	3年 (短期専門家)
⑩ 塗 装	3年 (短期専門家)
⑪ 配 管	3年 (短期専門家)
⑫ セラミック	5年 (長期専門家)
⑬ 現場監督助手	(我方協力対象外)

◎入校資格：16歳～25歳までの小学校もしくは中学校を修了した者。

◎訓練期間：センターで10カ月，その後2カ月間工場内訓練。

◎訓練時間：8：30～16：30

※各職種の定員については，応募者もしくは指導員の状況で多少上下する。

※1991年第3期生より新コースとして，現場監督助手 (Assistant Foreman) を新設。

向上訓練 (Up-Grade Training)

○機械系

- ・機械製図
- ・測定機器取扱
- ・標準旋盤
- ・ならい旋盤
- ・各種溶接

○自動車整備系

- ・オートバイ修理
- ・エンジン調整
- ・ジーゼルエンジン整備
- ・農業小型エンジン
- ・自動車電気系整備
- ・トランスミッション

○電気・電子系

- ・トランジスター修理
- ・白黒テレビ修理
- ・屋内配線
- ・電動モーター制御

○建築系

- ・建築製図
- ・配管
- ・建築見積り
- ・陶磁器の絵つけ

◎資格：16歳以上で応募職種の経験があり、現在雇用されていること

◎訓練時間：18：00～20：00

第1回向上訓練 1989年7月25日～8月26日

第2回向上訓練 1989年11月7日～12月16日

第3回向上訓練 平成2年11月14日～12月27日

上記の他に国境警備警察隊向上訓練（自動車系）が2カ月間の期間で2回実施され、現在3回目訓練中。

移動式訓練 (Mobile Training)

訓練コース

○機械系

- ・板金はんだ付け
- ・アーク溶接

○自動車整備系

- ・小型エンジン
- ・オートバイ修理

○電気系

- ・屋内配線
- ・家電修理

○建築系

- ・水瓶製作
- ・配管
- ・井戸堀

特別訓練 (Special Training) ・技能検定及び競技会 (我方協力対象外)

特別訓練コース

- ・監督者訓練
- ・守衛者訓練
- ・QC訓練
- ・ボイラー訓練
- ・給仕等

技能検定

- ・本検定試験をウボンのセンターにて実施

1990年8月4日～5日 第3級技能検定実施された。

技能競技会

東北地区南部野地方選考会が平成3年5月18日～19日に実施された。

優勝者は、バンコック本競技会に出場。

UBISD訓練コース実施に関する資料

1. 訓練コース実施状況
 - 養成訓練（第1期）
 - 養成訓練（第2期）
 - 養成訓練（第3期）
 - 向上訓練（1～3回）
 - 移動式訓練
 - 特別訓練（我が方協力対象外）
2. 卒業者数及びドロップアウト数
 - 養成訓練（第1期）
3. UBISDからの訓練計画書・訓練計画の結果と目標
 - タイ会計年度1990・1991年度
4. NISDから掲示された1991年度の訓練計画

1. 高川系東コース実務状況
 養成訓練(第1期)
 訓練期間:平成元年6月～平成2年5月

科名	R/D定員	定員	応募者	合格者 及び 競争率	10か月訓練終了者	企業内訓練終了者	就職者	ドロップ アウト数	備考
1. 機械	45	45	209	45 (4.54)	40	37	36	8	
2. 溶接	60	60	170	57 (2.83)	42	41	27	16	
3. 自動車整備	30	30	223	31 (7.43)	27	26	13	5	
4. 農業機械	20	20	63	20 (3.15)	18	18	13	2	
5. 車体修理	20	22	57	23 (2.59)	20	19	16	4	
6. 電気	20	20	194	20 (9.7)	17	17	7	3	
7. 電子	20	20	195	20 (9.75)	16	16	10	4	
8. 冷凍・空調	20	20	145	20 (7.25)	18	16	8	4	
9. 家具製作	20	24	43	25 (1.79)	22	19	15	6	
10. 塗装	20	30	76	29 (2.53)	25	20	20	9	
11. 配管	20	24	52	24 (2.16)	22	22	7	2	
12. セラミック	20	20	67	19 (3.35)	15	13	13	6	
合計	315	335	1494	333	282	264	185	69	

④就職者数については、平成2年 7月21日のタイ働資料に基づく。

訓練コース実施状況
 訓練期間：平成2年6月～平成3年5月
 (第2期)

平成3年 6月20日現在

科名	R/D定員	定員	応募者	合格者 及び 競争率	10か月訓練終了者	企業訓練終了者	就職者	ドロップ アウト数	備考
1. 機械	45	45	206	45 (4.75)	42	42	39	(3)	50ヶ月訓練終了 10ヶ月訓練終了 後進学及び就職 した9名及び企業 内訓練未終了者 を含む。
2. 溶接	60	60	121	60 (2.01)	51	48	38	10 (2)	
3. 自動車整備	30	32	246	32 (7.68)	30	29	16	3	
4. 農業機械	20	20	42	20 (2.10)	18	18	12	2	
5. 車体修理	20	22	48	22 (2.18)	21	20	10	2	
6. 電気	20	20	151	20 (7.55)	18	18	14	2	
7. 電子	20	20	105	22 (5.25)	20	16	11	1 (3)	
8. 冷凍・空調	20	20	68	20 (3.40)	16	16	13	2 (2)	
9. 家具製作	20	24	34	28 (1.41)	25	21	20	6 (1)	
10. 塗装	20	30	48	29 (1.60)	21	21	21	10	
11. 配管	20	24	32	23 (1.33)	19	18	5	4 (1)	
12. セラミック	20	20	38	23 (1.90)	21	20	20	3	
合計	315	337	1139	344	302	288	219	45 (12)	

※ 訓練終了者に対する就職者数の割合は、約76.04%であり又就職先分布については、イサーン地区50%にバンコック周辺が50%。
 ※ () : 卒業後に進学した数

豊川特産コース実施状況
 養成訓練期間：平成3年6月～平成4年5月
 (第3期)

平成3年 6月20日現在

科名	R/D定員	定員	応募者	合格者 及び 競争率	10か月訓練終了者	企業内訓練終了者	就職者	ドロップ アウト数	備考
1. 機械	45	45	163	45 (3.62)					
2. 溶接	60	60	99	58 (1.65)					
3. 自動車整備	30	32	242	36 (7.56)					
4. 農業機械	20	20	50	20 (2.50)					
5. 車体修理	20	22	33	21 (1.50)					
6. 電気	20	20	90	22 (4.50)					
7. 電子	20	20	90	19 (4.50)					
8. 冷凍・空調	20	20	55	18 (2.75)					
9. 家具製作	20	30	29	20 (0)					
10. 塗装	20	26	31	24 (1.19)					
11. 配管	20	24	13	11 (0)					
12. セラミック	20	24	26	21 (1.08)					
13. 現場監督助手		20	29	19 (1.45)					
合計	315	363	950	334					

高川線二一ノ実施状況
同上 訓 練

科 名	R/D 定員	第1回				第2回				第3回				備 考
		A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
		1. 機械系 機械製図 測定器具の取扱 標準旋盤(なじ) 下向きの旋盤 立向きの旋盤 電気溶接 (溶接系)	45	12 15	12 16	12 14	6 11		17 16 16 15 15 12	15 12 12 15 12	13 10 7 8 12		7 16	
2. 自動車整備系 オイルの修理 オイル調整 自動車の整備 農業用電気装置 自動車電気装置 国策準備官学校車両部 教育省教員向けオイルの修理	60	15 21 16	14 16 16		7 14 11		25 17 16 16 26	15 13 12 15 26	10 11 10 12 25		20 23 32 31	14 20 17 31	10 12 17 31	
3. 電気・電子系 オイルの修理 白黒写真の修理 屋内配線 電動機・制御	45	16	12		12		15 19 31 15	14 15 15 12	8 13 12 8		14 25 18	12 19 15	7 9 12	
4. 建築系 建築製図 建築施行見積り 建築図の読み取り	15	34 3	33 0		29 0		26 24	26 24	17 20		30 19	26 16	20 8	
		202	186	149	149		321	269	198		254	200	145	

◎ A: 定員 B: 応募者数 C: 合格者数 D: 終了者数

宮川建設株式会社 訓練実施状況

コ ー ス 名	89年度 (89.6 ~ 89.9)		90年度 (89.10 ~ 90.9)		91年度 (90.10 ~ 91.5)		備 考
	回 数	終了者数	回 数	終了者数	回 数	終了者数	
1. 機械・溶接系 ・ 板金・はんだ付け ・ 7-7 溶接			5	97	4 (3)	56	
2. 自動車整備系 ・ 小型エンジン ・ 木工作 修理	2 1	46 34	12 8	281 200	5 (5) 6 (3)	115 109	
3. 電気 ・ 屋内配線 ・ 家電修理			3 2	69 43	(1) 4 (3)	93	
4. 建築系 ・ 水櫃製作 ・ 配管 ・ 井戸堀			1 1	20 10	7 (1) 7	127 132	
	3	80	32	720	33 (16)	632	

()は5月～9月までの予定回数

訓練コース実施状況
特別訓練 (我方協力対象外)

C O U R S E	Fiscal Year 1989 ('89. 6 ~ '89. 9)		Fiscal Year 1990 ('89.10 ~ '90. 9)		Fiscal Year 1991 ('90.10 ~ '91. 5)		R E M A R K
	The Number of Times	Completion	The Number of Times	Completion	The Number of Times	Completion	
1. Industrial Sewing	3	91	6	111	1	11	
2. General Fitting	1	20					
3. Local Guide	1	25					
4. Waiter & Waitress	1	39					
5. Foreman Training			6	192	1	34	
6. Teaching Methodology			1	26			
7. Receptionist			1	31			
8. Boiler Operator			1	41			
9. Automotive			2	46			
10. Basic supervisor training					5	134	
11. Security training for guards.					1	18	
12. QC training for supervisors					2	85	
[Green Isarn Project Budget]							
13. Basic sewing					3	66	
14. Small private business (Cooking)					1	23	
15. Small private business (Mushroom spore culture)					1	25	
16. Small private business (Hair - dresser)					1	24	
17. Small private business (Mushroom plantation)					1	25	
18. Bamboo crafts					2	52	
TOTAL	6	175	17	447	20	519	

() : Times of Training Plan

2. 卒業者数及びドロップアウト数

1989年度養成訓練第一期生

	機械科	溶接科	自動車整備科	農業機械科	重機科	電気科	電子科	冷空調科	家具製作科	配管科	塗装科	卒業科	計	備考
A. 1期生入学生数	45	57	31	20	23	20	20	20	25	24	29	19	333	
B. 10ヶ月訓練終了	40	44	27	18	20	18	16	18	22	22	25	16	286	
C. 工場内訓練生数	40	42	27	18	20	17	16	18	22	22	25	15	282	
D. ドロップアウト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○10ヶ月訓練合格後就職 した。出花不明なものは 7ヶ月以内の中へ入れた。 (若し期間不明者4名)
※自主退学	4	8	1	1	3	2	1	1	-	1	4	1	27	
※強制退学 ・出席不足 ・態度不良	1	5	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	9	
※病欠	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
※就職	-	-	2	-	-	-	3	1	3	-	-	3	12	
※結婚	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
※10ヶ月不合格	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
※勉学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
※その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
小計	5	15	4	2	3	3	4	2	3	2	4	4	51	

3. UBISDからの訓練計画書・訓練計画の結果と目標(タイ会計年度、1990年度、1991年度)

		1990年7月31日				
訓練内容	R / D	目標(1990年度)	結果(1990年度)	目標(1991年度)	備考	
1. 養成訓練 (コース/訓練生数)	1/315	1/428	1/344	1/400 (373)	()の数字は UBISD案	
③通常訓練予算による計画	-	1/400	1/316	1/372 (345)	UBISD 通常訓練予算を使用	
④村落開発プロジェクトによる計画	-	1/28	1/28	1/28 (28)	1991年度目標は1990年入校生数	
2. 工場内訓練 (コース/訓練生数)	1/315	1/300	1/282	1/344	1991年度訓練は I-J-S 20名	
3. 向上訓練	15/585	10/200	16/247	70/1400	列ノイ件-プロジェクト予算を使用	
③通常訓練予算による計画	-	10/200	16/247	10/200	1991年度訓練は I-J-S 20名	
④グリーンサイザープロジェクト	3/30	30/620	27/724	120/3600	1991年度訓練は I-J-S 20名	
4. 移動式訓練 (コース/訓練生数)	3/30	20/400	19/541	10/220	列ノイ件-プロジェクト予算を使用	
③通常訓練予算による計画	-	10/220	8/183	110/3380	1991年度訓練は I-J-S 22名	
④村落開発プロジェクトによる計画	-	-	-	-	列ノイ件-プロジェクト予算を使用	
④グリーンサイザープロジェクト	12/180	10/200	12/310	85/1705	1991年度訓練は I-J-S 20名	
5. 特別訓練 (コース/訓練生数)	12/180	10/200	12/310	10/205	列ノイ件-プロジェクト予算を使用	
③通常訓練予算による計画	-	-	-	75/1500	1991年度訓練は I-J-S 20名	
④グリーンサイザープロジェクト	-	1/100	-	3/420	列ノイ件-プロジェクト予算を使用	
6. 技能検定 (コース/訓練生数)	-	-	-	200	UBISD 通常訓練予算を使用	
7. 技能検定	-	-	-	200	NISD特別予算を使用	
合 計	1110	1848	1907	8069		

4. NISDから提示された1991年度(1990年10月～1991年9月)の訓練計画

数字 : 訓練生数 (受講生数)

訓練内容	目標	NISD	RISD ⁽¹⁾	CISD	LISD	KISD	SISD ⁽⁴⁾	NSISD	ハタニ	UBISD ⁽⁵⁾
養成訓練	5,000	1,300	550	620	520	750	550	550	160	490 (373)
向上訓練	5,800	3,000	500	500	400	500	500	400	-	200 (300)
特別訓練	5,800	2,000	660	1,000	600	660	450	410	-	205 (250)
移動式訓練	5,600	500	800	800	800	-	800	800	1,100	-
グリブサイレント プロジェクト ⁽¹⁾	(13,400)	-	-	-	-	7,100	-	-	-	5,300
工場内訓練	(4,000)	1,040	440	496	416	600	440	440	128	344
技能検定	2,100	1,000	110	400	150	150	120	170	-	420 (100)
技能競技会 ⁽²⁾	(2,500)	1,100	200	200	200	200	200	200	-	200
合 計	44,544	9,940	3,280	4,016	3,086	9,960	3,060	2,970	1,388	8,069

⁽¹⁾ KISD, UBISD⁽⁵⁾ (2) ワンストップ 除く全社にて実施予定 (3) カゴ内の数字は UBISD⁽⁵⁾ 基準に訓練する人員 (4) RISD, SISD, LISD, KISD, NSISD, UBISD⁽⁵⁾ 計画に含ばれた数字
上回る訓練を行なう必要が ⑤ 目標は第5次経済社会開発計画より決められた数字 ⑥ カゴ書き数字はUBISD⁽⁵⁾ 計画に含ばれた数字

3-1-3 技術移転状況及び教材開発状況

(1) 自動車系分野

- 1) 訓練細目別技術移転達成度評価は、資料の通りであるが、この表で見る限り、技術移転の達成が困難であるように思われるが日本側専門家とタイ側指導員(C/P)との技術移転は友好かつ密接に行われ、日常の訓練も順調に進められている。達成度D, E等の意味はC/Pの資質、能力の問題ではなく、彼らが移動式訓練、向上訓練に追われて技術移転のための時間が確保されなくて専門家の指導が得られなかったという事である。専門家とC/Pの接触の時間が確保されれば、技術移転は十分に達成されると判断される。

※タイ側(UBISD)から下記の技術移転の要望があった。

- (a) 継続事項の実施
- (b) 電子制御燃料噴射装置
- (c) オートマチック・トランスミッション

- 2) 教材開発状況は資料の通りである。

教材開発の作成課程は専門家が英文で原稿を作成し、C/Pに検討させた後、C/P及び秘書がタイ語に翻訳、校正、印刷製本している。教材の作成過程そのものが技術移転であるので、その意味で教材開発の技術移転は順調に進められている。

問題点は、自動車整備実技教科書(250ページ)の完成度が10%ぐらいである。これは自動車製備科としてはメインの教科書であるので、この教科書の完成が望まれる。

(2) 機械系分野

- 1) 機械科の訓練細目別技術達成度評価は資料の通りである。

当科は順調に技術移転が行われており、現時点では問題点はない。

- 2) 機械系の教材開発状況は資料の通りである。作成過程を検討してみると、専門家からC/Pと作成の技術移転及び開発も順調に行われている。完成予定も遅いものでも1992年5月であり、協力期間まで十分に完成されると判断されている。

(3) 電気・電子系分野

電気関係

前任の長期専門家の技術移転分野は強電関係であり、この分野の技術移転は全て終了している。また教材も順調に作成されている。

今後は、1991年3月着任の長期専門家によって弱電関係、コンピュータ関係の技術移転が進められる予定であり、その計画は資料のとおりである。

電子関係

現状は、養成訓練をチーフ1名、C/P1名で実施している関係上、技術移転時間の確保が難しくなっている。そのなかで、空き時間を見付け出しながらではあるが技術移転を行っている。

測定関係の器材が若干不足しているものの、とりあえず技術移転は順調に進んでいる。

(4) 建築系分野

セラミック関係

技術移転状況及び教材作成状況は、順調に進んでいる。

消耗資材の購入について、プロジェクト開始以来不足ぎみであったがタイ側の努力もあり順調に改善されている。

セラミック科は他科と異なり、訓練生募集時の応募数が減少傾向にあり定員充足がギリギリであることが報告されたが、タイ側もこの点は認識しており、今後この技術の重要性を国民に理解してもらうよう広報活動を徹底することを約束した。

1. 訓練細目別技術移転状況

自動車整備科

訓練細目別技術移転状況

1991年5月現在

項目	カウンターパート氏名					
	SURAPOL	PONGSAK	JESADA	MANOJ	TONGSUK	PAN
1. 訓練計画作成 ・作成・管理 ・実施・運営	B B	B C	C C	C C	E C	E C
2. 教材作成 ・計画・作成 ・活用	B C	C C	A A	A A	D D	D D
3. クラス運営	B	B	B	B	B	C
4. 指導技法	C	C	B	B	B	C
5. 標準技能評価	D	D	D	D	D	D
6. 機材の活用、管理および保守点検	C	C	B	B	D	D
7. ジョブシート、実習用マニュアルの整備、活用	B	C	B	B	C	D
8. 安全衛生	C	C	C	C	C	C
9. エンジン ・構造・機能 ・点検 ・整備 ・検査 ・潤滑装置 ・冷却装置 ・燃料装置 ・電気装置 ・電子制御式燃料噴射装置	A D B D B B D D E	A D B D B B C E E	A D A D B B B B D	A D B D B C	A D A D B B D E	A D A D B B C D
10. 動力伝達装置 ・構造・機能 ・点検 ・整備 ・検査 ・アクスル及びサスペンション ・ステアリング装置 ・ホイール&タイヤ ・ホイールアライメント ・ブレーキ装置 ・シャシの電気装置		C C D D C C C D C	B C C C C C C B C	B		C C C C C C C B C
11. 自動車の定期点検整備 ・概要・意義 ・実施要領・手法	D E	D E	C D	D D	D E	D E
12. 故障診断 ・概要・意義 ・実施要領・手法	C E	C E	C D	C D	C E	C E
13. 5Sの重要性、実践	E	E	E	E	E	E

注) 項目別達成度は、下記の5段階を使用して評価した。

A: 80%~100%、B: 60%~79%、C: 40%~59%、D: 20%~39%、E: 0%~19%

訓練細目別技術移転状況

1991年5月現在

車体修理科

項目	カウンターパート氏名	
	KUSOL	SUPEE
1. 訓練計画作成 ・作成・管理 ・実施・運営	B D	D C
2. 教材作成 ・計画・作成 ・活用	D D	C D
3. クラス運営	C	B
4. 指導技法	D	B
5. 標準技能評価	D	D
6. 機材の活用、管理および保守点検	C	B
7. ジョブシート、実習用マニュアルの整備、活用	D	D
8. 安全衛生	D	D
9. 基本工作作業	C	A
10. 溶接作業	C	B
11. 車体内外装整備	C	C
12. 自動車板金作業	C	A
13. 基礎塗装作業	C	B
14. 総合自動車板金、塗装作業	D	A
15. 車体の保守管理	D	D
16. 車体修理に関する検査 ・作業工程表の作成 ・作業の工程管理 ・工程検査 ・最終検査	C D D D	C D D D
17. 自動車の定期点検整備 ・概要・意義 ・実施要領・手法	E E	E E
18. 5Sの重要性、実践	E	E

注) 項目別達成度は、下記の5段階を使用して評価した。

A: 80%~100%、B: 60%~79%、C: 40%~59%、D: 20%~39%、E: 0%~19%

項目	カウンターパート氏名		
	SOMBOONSUK	CHAMRAT	SONGSAK
1. 訓練計画作成 ・作成・管理 ・実施・運営	D D	D C	D D
2. 教材作成 ・計画・作成 ・活用	D D	B B	C B
3. クラス運営	C	B	C
4. 指導技法	C	B	B
5. 標準技能評価	D	D	D
6. 機材の活用、管理および保守点検	C	B	B
7. ジョブシート、実習用マニュアルの整備、活用	D	B	C
8. 安全衛生	C	C	C
9. 小型エンジン整備 ・点検 ・整備 ・検査	B B C	A A B	A A B
10. 基本工作、溶接作業 ・基本工作 ・ガス溶接 ・アーク溶接	A C C	A A A	A A A
11. トラクター整備 ・点検 ・整備 ・検査	B B C	A A B	C B C
12. 耕うん機整備	B	A	B
13. 農業機械整備	B	A	A
14. オートバイ整備 ・点検 ・整備 ・検査	C C C	C B D	C C D
15. 自動車の定期点検整備 ・概要・意義 ・実施要領・手法	E E	E E	E E
16. 故障診断 ・概要・意義 ・実施要領・手法	C E	C D	C E
17. 5Sの重要性、実践	E	E	E

注) 項目別達成度は、下記の5段階を使用して評価した。

A: 80%~100%、B: 60%~79%、C: 40%~59%、D: 20%~39%、E: 0%~19%

訓練細目別 技術移転状況

1991年5月現在

機械科

項目	カウンターパート氏名					
	TANAT	CHAINARIN	KAMJAD	SANGOB	CHIEW	SOMCHAI
教材作成	C	D	D	D	D	D
訓練計画作成	B	C	C	C	C	C
クラス運営	B	B	B	B	B	B
安全衛生作業	C	C	C	C	C	C
一般工具使用法	B	B	B	B	B	B
測定法	B	B	B	B	B	B
機械製図						
製図一般		A			A	
機械図面読図		B			B	
機械部品製図		B			B	
工業数学			A	A		
機械材料			A		A	
機械工作作業						
測定作業	B	B	B	B	B	B
けがき作業		B		B		B
普通旋盤作業		B	C	B		B
フライス盤作業		C	C		B	B
平面研削盤作業		B	B		B	
円筒研削盤作業		B	B		B	
刃物研削盤作業		C	C	C	C	B
仕上げ組立て作業						
やすり仕上げ作業		A		A		A
弓のこ作業		A		A		A
はつり作業		A		A		A
ねじ立て作業		A		A		A
ボール盤作業		B		A		A
帯鋸盤作業		A		A		A
形削盤作業		B		C		B
電動工具作業		A		B		A

注) 項目別達成度は、下記のような区分に分類し、アルファベットで表した。

A: 80%以上、 B: 60%以上、 C: 40%以上、 D: 20%以上、 E: 20%未満

電子科

技術移転状況

項 目	カウンクパート 氏名	
	Thusak	Pranort
訓 練 計 画 カリキュラム シラバス作成 年間、月間 週間計画作成	A	A
教 材 作 成	A	A
安全衛生作業法	A	B
電 子 部 品 L, C, R	A	A
半 導 体	A	A
そ の 他	A	A
電 子 回 路 RF, AF	A	A
パルス回路	A	A
電 子 製 図	A	A
電 子 測 定 測定器の取扱い	A	A
プリント基板	A	A
電子回路製作	A	A
テレビ調整修理 白黒テレビ	A	A
カラーテレビ	A	A
クラス運営	A	A

評価 A 80 %
B 60 %
C 40 %
D 20 %

カウンターパートに対する技術移転状況

セラミック (陶磁器製作) 科

1991年5月 現在

項 目	カウンターパート氏名		
	Mr. Priya Neungdon	Mr. A-khoa Obroa	Mr. Veerachai Khudsdaeng
1. 技術指導			
土準備、土採み	A		A
原料管理	B		B
手びわり	A	A	A
ろくろ成形	B		B
石膏型成形	B	B	B
機械ろくろ成形	B	B	B
プレス成形	D	D	D
デザイン	A	A	
絵付け (紙上)		A	
下絵付け		C	
上絵付け		C	
袋飾	C	C	C
袖染	C	C	C
焼成作業	B	B	B
2. 訓練ニーズ把握			
訓練目標設立	A	B	B
企業調査	A	B	B

注) 項目別達成度は、下記の5段階を使用して評価した。

A : 80% ~ 100% , B : 60% ~ 79% , C : 40% ~ 59% , D : 20% ~ 39% , E : 0% ~ 1

1991年5月 現在

セラミック (陶磁器製作) 科

項 目	カウンターパート氏名		
	Mr. Prinya Neungdoos	Mr. A-khor Obroa	Mr. Veerachai Khurdaeng
3. 訓練計画作成			
カリキュラム、シラバス作成	A	B	B
年間計画、月間・週間計画作成	A	B	B
指導案、作業分解・指導票作成	C	C	C
4. 教材作成			
教科書作成	D	D	D
専門用語集作成	C		
ビデオ・スライド教材作成	A		
実技見本作成	B	B	B
5. 資材・機材管理			
資材調達計画作成	B		
機材管理台帳作成	B		
機材保守点検	C	C	C
6. クラス運営			
訓練計画実施	B	B	B
訓練生管理	B	B	B
予算運営	B		
7. 安全衛生			
安全衛生認識・実践	C	C	C
5S認識・実践	C	D	D

2. 教材作成状況

科名	教材の種類、教材名、進行度	作成年月	C/Pの作成関与状況
自動車系	マニュアル 訓練実施計画作成要領 15ページ、 100%完了	1990年7月 完成	専門家が英文マニュアルを作成、秘書が翻訳を担当。
	マニュアル 移動式訓練用カーゴトレーラの取扱い・保守点検 8ページ 100%完了	1990年6月 完成	英文資料の収集編集は専門家、翻訳は秘書を担当。
	教科書 グラインダーの安全教育用テキスト 20ページ、 70%完了	1991年6月 完成予定	専門家が英文資料を作成、収集、編集、翻訳は秘書を担当
	マニュアル 主要教材の活用マニュアル 200ページ、 30%完了	1991年11月 完成予定	専門家が英文資料を作成、収集、編集、翻訳はC/P全員が担当。
自動車整備	教科書 エンジンコップ、オシロスコープのための点火波形マニュアル 50ページ、 100%完了	1990年3月に完成したが、内容に不十分な点があり、改訂版を作成、1990年10月に完成	専門家が英文マニュアルを作成、収集、編集、MANOJが翻訳・校正を担当。
	教科書 自動車の定期点検マニュアル 150ページ 20%完了	1991年12月 完成予定	専門家が英文マニュアルを作成、収集、編集し、翻訳・校正・印刷は業者に依頼予定。
	教科書 オシロスコープの使用法(基礎編) 22ページ、 100%完了	1990年12月 完成	専門家が英文マニュアルを作成、MANOJが翻訳を担当。
	教科書 ホイールアライメントの概要、測定、調整 70ページ、 100%完了	1990年12月 完成	専門家が英文マニュアルを作成、JESADAが翻訳を担当。
	教科書 電子燃料噴射装置の概要 32ページ、 100%完了	1990年11月 完成	専門家が資料を作成、収集、編集し、翻訳は業者が担当。
	教科書 自動車の排出ガス概論 20ページ、 100%完了	1990年11月 完成	専門家が資料を作成、収集、編集し、翻訳は業者が担当。
	指導員用教科書 自動車整備実技教科書 250ページ、 10%完了	未定	専門家が英文マニュアルを作成、収集、編集し、翻訳・校正・印刷は業者に依頼予定。
	ビデオ教材 自動車の定期点検 100分、 10%完了	台本製作中 未定	専門家が台本を作成、JESADAを中心に科で作成する予定。
	ビデオ教材 ホイールアライメントの概要、測定、調整 100分、 10%完了	台本製作中 未定	専門家が台本を作成、JESADAを中心に科で作成する予定。
	実習用シュミレーション ボード 自動車の灯火装置 2台、 100%完了	1990年10月 完成	専門家が計画し、MANOJが作成。
	実習用シュミレーション ボード 自動車の点火装置 4台、 20%完了	1991年12月 完成予定	専門家が計画し、MANOJが作成予定。

機械科

教科書・教材作成状況

1991年5月現在

科名	教科書・教材名 (ページ数)	作成年月	C/Pの作成関与の有無・状況
機械科			
	旋盤工作法 (約30ページ) 20%	9月完成予定	現在日本語の資料を集めたところである。これからC/Pの意見を取り入れ、英語からタイ語へと翻訳していく予定である。
	フライス盤工作法 (約30ページ) 20%	11月完成予定	同 上
	仕上げ工作法 (約50ページ) 20%	12月完成予定	同 上
	測定機器 (約30ページ) 10%	平成4年3月 完成予定	同 上
	NCの基礎 (約50ページ) 10%	平成4年3月 完成予定	UBISDに機器がないため基礎的なプログラミングを中心とした範囲で作成予定。
	研削盤工作法 (約20ページ) 10%	平成4年5月 完成予定	現在日本語の資料を集めたところである。これからC/Pの意見を取り入れ、英語からタイ語へ翻訳していく予定である。
	機械の要素 (約30ページ) 10%	平成4年5月 完成予定	同 上
	図面の読み方・描き方		構想中
	機械のメンテナンス		構想中

	教科書・教材名 (ページ数)	作成年月	C/Pの作成関与・状況
電気科			
1年次共通	電気科訓練性用安全教育教科書。(36ページ) 100%完了	前任者任期中作成	資料収集・編集は専門家, 翻訳はカウンターパートが行なった。
"	基本測定器の扱い方 (103ページ) 100%完了	"	"
"	基本電気製図(22ページ) 100%完了	"	"
"	各種測定器, 器工具の取扱い (140ページ) 100%完了	"	"
"	モータ修理基本 (19ページ) 100%完了	"	"
"	モータ修理応用 (54ページ) 100%完了	"	"
"	結線(28ページ) 100%完了	"	"
"	シーケンス制御 (50ページ) 100%完了	"	"

表4 電子科

教材開発状況

科名	教科書・教材名(ページ数)	作成年月	C/Pの作成関与の有無・状況
従成 1年 実技用	半導体の使い方 (40) マイクロコンピュータ (100)	Dec. 1990 未完成	専門家が英文で自作。95% 完成 " " " " 50%

教材開発状況

1991年5月 現在

セラミック(陶磁器製作)科

教科目	教科書・教材名(ページ数)	作成年月	C/Pの作成関与の有無・状況
陶磁器全般	訓練生学科用教科書 「陶磁器の基本」(150ページ) 20%完了	1991年10月 完成予定	二年間の学科指導を元にカウンターパート全員で作成出来るよう専門家が指導し、資料収集、編集、監修を行なう。現在、定期的に会議を開き原稿を作成中である。
陶磁器基礎 陶磁器の歴史	スライド教材 東洋美術史より 「東洋陶磁器の歴史」(56ページ) 100%完了	1990年10月 完成	スライド教材「東洋美術史」全22巻(30017)より、陶磁器のスライドだけを選び、編集し台本を作成した。専門家が英文解説まで作成しタイ語解説をカウンターパートと共に作成した。
	スライド教材 書籍「世界陶磁全集」より 「タイの焼物」(68ページ) 70%完了	1990年4月 撮影 1991年7月 完成予定	書籍「世界陶磁全集」全22巻の内第16巻目の「南海」よりタイの焼物に関するものを選んで撮影しスライドにした。専門家により編集、英文解説まで作成済で現在タイ語解説をカウンターパートと共に作成中。
陶磁器基礎 焼物紹介	スライド教材 「タイの焼物～スコータイ篇」 (104ページ) 70%完了	1990年11月 撮影 1991年8月 完成予定	スコータイ地区調査旅行で撮影したスライドを編集し、英文台本を作成した。タイ語解説については、現在作成中である。
	ビデオ教材 「楽しい陶芸教室～(Ⅰ)基礎篇 (Ⅱ)応用篇」 (80分) 100%完了	1989年9月 完成	日本から持ってきたビデオ教材を再編集した。専門家が画面を見ながら説明しカウンターパートがメモを取って解説文を作成した。
	ビデオ教材 「タイ東北地方の焼物 ～ウボン、コラートの焼物」 (100分) 100%完了	1989年10月 完成	ウボンとコラート調査の時、撮影したビデオを編集し、地元産業の技術や作品の紹介をするための教材として活用している。
	ビデオ教材 「タイ北部の焼物 ～チェンマイ、ランバンの焼物」 (90分) 100%完了	1990年2月 完成	チェンマイ、ランバン地区調査旅行で撮影したビデオを編集し、タイにおける陶磁器産業の盛んな地域の技術や作品、原料の山などを紹介する教材として活用している。

3. 技術移転計画表

機械科

	1991												1992												1993						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
1. Review and Research on Training Needs and Level ① Training Objective	Review				Review								Review				Review														
					Khankairi	Rayung							Ratchburi				Ubon														
② Observation Trip				☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆							☆☆☆☆				☆☆☆☆														
				☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆							☆☆☆☆				☆☆☆☆														
2. Development of Syllabus and Curriculum ① Pre-Employment Training	Review				Review								Review				Review														
					Completion								Completion				Completion														
② Up-Grade Training	Review																														
3. Technical Transfer ① Revision and Development of Job Sheet and Training Manuals	Plan																														
② Development and Utilization of Train Aids	Review																														
③ Utilization and Maintenance of Experiment	Plan & Discussion												Plan for Next																		
④ Relevant and Up-Grade Knowledge (Numerical Control, etc.)	Teach The Outline																														

技術移転計画表

(01.1991-12.1992)

	1991												1992												Note
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1. 教材の作成 教科書作成と、その資料収集	_____																								
2. 故障修理用 訓練機 ①白黒TV ②カラーTV	_____																								
3. 機器の取扱い ①ワンボード マイクロ コンピューター ②ステッピング モーター リレー アッセンブリ ③入出力 ボード ④A/D D/A コンバータ ⑤トランジスタ インバータ ユニット ⑥ステッピング モーター 位置決めユニット ⑦SSR ユニット ⑧メカトロニクス実験装置	_____																								
4. その他	_____																								

3-2 NISD

教材開発及び指導技法

全般的な評価としては、これまでの日本人専門家の技術移転状況にタイ側も満足しており順調に経緯している。

NISDにおける指導員訓練システムは、専門技術分野、監督者訓練分野、指導員訓練分野にわたり、それぞれ数週間単位の訓練である。分類は資料1のとおりであるが、この表は日本人専門家のアドバイスにより作成され、コースの分野別・体系的分類に関する知識（考え方）をタイ側に移転しているところである。この知識の移転により、タイ国で実施しなければならない訓練コースの把握の方法、ニーズ調査に際しての焦点の絞り込み等に効果が期待できる。教材作成、指導技法の技術移転に直接関係のない事項ではあるが、NISDの運営に大いに役立つと同時に、NISD 所長、調整部門課長に大いに影響を与え、感謝されている。

現在の長期専門家の関わりは、資料1のうち、

教材開発専門家 Teaching Aid Producing, Teaching Aid (General).

Teaching Technique, Trainer Training

指導技法専門家 Electrical & Electronics Course, Trainer Training

である。

現在赴任している指導技法長期専門家の任期は本年10月をもって終了し、今後のNISDにおける長期専門家の役割分担は、教材開発、機械分野指導員訓練（指導技法含む）及び電気・電子分野指導員訓練（指導技法含む）の3名体制で臨むことになる。この関係を資料2に示す。

(1) 教材開発関係

教材開発専門家は、昨年度（1990年10月）赴任以来NISD指導員全体の教材作成能力の向上を図るため技術移転を行っている。技術移転状況及び教材作成状況は、資料3、4のとおりである。

タイ国における指導員用教科書の作成は、以下の5種類のシートを作成することによって行なわれている。訓練生には、そのうちの2), 3), 4) が渡されている。

- 1) Lesson Plan
- 2) Information Seet
- 3) Job Seet
- 4) Operation Seet
- 5) Test Seet

この方式はタイ国で既に実施されているものであるが、訓練内容が古いこともあって使用されている様式を含めて全体を見直し中である。

見直しを終了し次第、UBISDにも配布し、UBISDと統一を図りながら、効果的に技術移転を図る計画である。

(2) 指導技法関係

プロジェクト開始以来技術移転を行っており、指導技法に関しては、「指導員マニュアル」の日本語版、タイ語版の完成を見ている。このマニュアルは、新規採用指導員の教育用に使用されたり、指導員経験者であっても職業訓練指導員の仕事の内容について教育を受けていない者に対する教科書として使用され、今後も指導員訓練コースの中で使用される予定である。

(3) 電気・電子関係

指導技法専門家は、専門技術分野の技術的裏付けのない指導技法の技術移転ではその効果が半減するとの立場から、電気電子分野の専門技術分野についても技術移転を行い、その専門分野のなかで指導技法の技術移転を行っている。

技術移転状況及び教材作成状況は、資料3、4のとおりである。

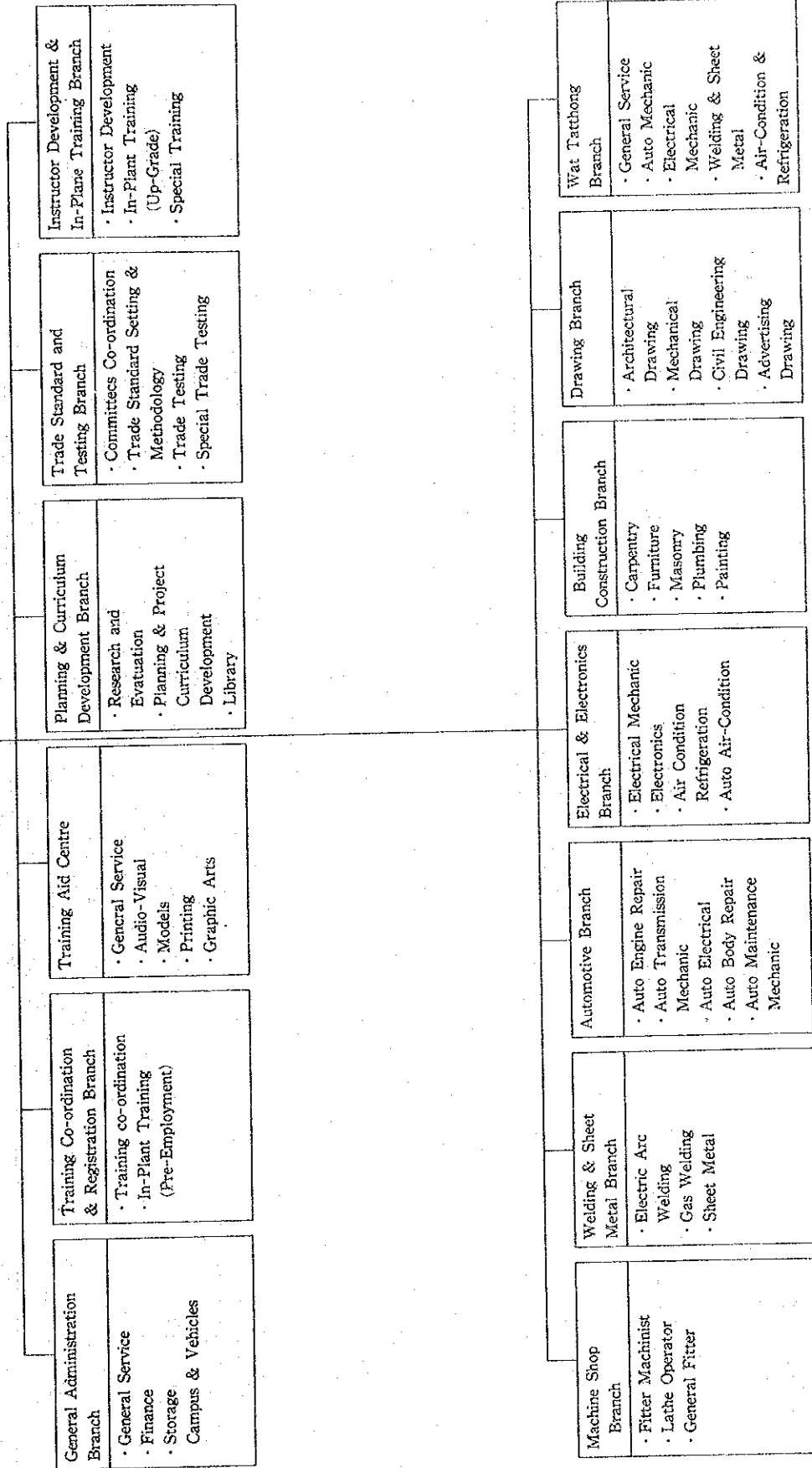
1. NISDにおける指導員訓練システム

	BASIC	UP-GRADING	
TECHNICAL COURSE 専門技術分野		MACHINE COURSE	
		ELECTRICITY & ELECTRONICS COURSE	
		WELDING COURSE	
		CONSTRUCTION COURSE	
		AUTOMOBILE COURSE	
	Computer Literacy Course (w/Probase/Lotus)		
TRAINING ADMINISTRATION COURSE		Unit-Ad(1)	Unit-Ad(2)
		OCC Idea & Activity	
		OCC Administration	
		Maintenance Administration	
		Safety Prevention	
TEACHING METHODOLOGY COURSE 指導技法分野		Workshop Administration	
		Trainer-Trainings (2w)	
		Learning Package	
		Training Measurement	
		DUCUM	
		Principle of C.Development	
		How to use Curriculum	
		Teaching Aid Producing	
		Teaching Aid (General)	
	Teaching technique		
	NEW INSTRUCTOR TRAINING		
	INSTRUCTOR OF ISO		
	UNIT CHIEF	STAFF CHIEF	

INSTRUCTOR DEVELOPMENT SYSTEM

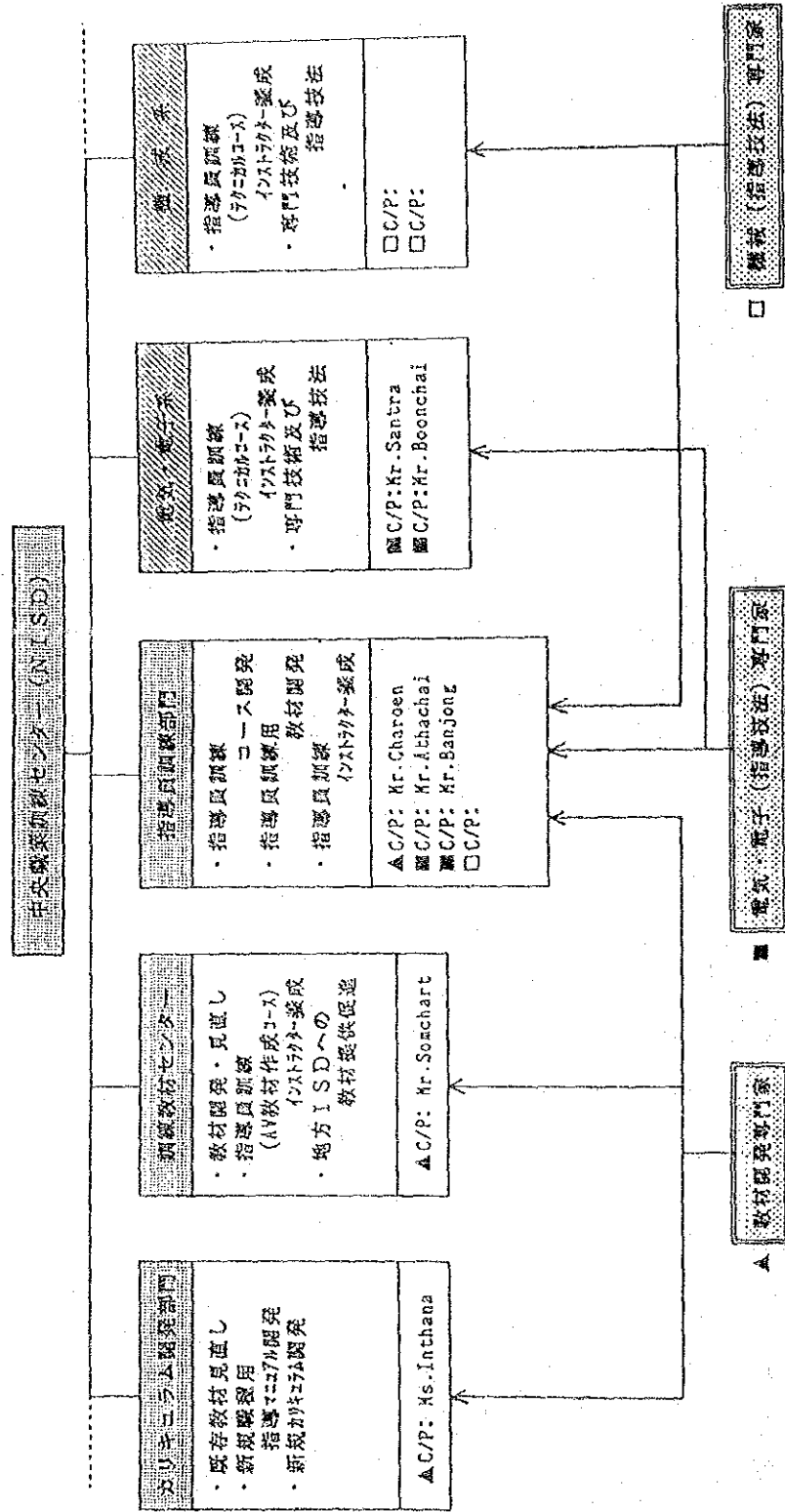
2 MISDの組織と役割

NATIONAL INSTITUTE FOR SKILL DEVELOPMENT



3. NISDにおける長期専門家の役割分担

- 専門技術・指導技法
NISDが計画・実施する指導員訓練(テクニカルコース)のインストラクターを養成するとともに、指導にあたっての具体的な指導技法・教材を含めた指導員訓練コースを開発する。特にエレクトロニクス及びNC機械に関する訓練はタイ国内においてもニーズが高まっているため、今後この分野の指導員訓練を充実させていく必要がある。
- 教材開発
NISD(訓練教材センター)から各ISDに配布する各種の訓練教材を開発するとともに、カリキュラム開発部門において既存教材の見直し、及び新規種類の指導マニュアルを開発する。また指導員訓練部門においては、教材開発に関する新規コースを開発するとともに、テクニカルコースにおける教材を各専門家と協力して開発する。



4. 訓練細目別技術移転状況

教材開発

1991.6月現在

項 目	カウンターパート氏名		
	Mr.Spunchart	Mr.Charoen	Ms.Inthana
視聴覚教材作成			
OHP・TP作成	B	B	
ビデオ教材作成	B	B	
指導員訓練			
指導員マニュアル開発		A	
新規コース開発		B	
カリキュラム開発			
モデル教科書開発			C
実技教科書開発			C

技術移転状況

1991年6月現在

指導員訓練科

分野/項目	カウンターパート氏名					
	Mr. Udon	Mr. Charoou	Mr. Banjong	Mr. Athachai	Mr. Santana	Mr. Booncha
指導技法						
1. 指導員マニパレーション 指導員の役割 訓練計画の作成 指導案の作成 作業の分解 指導の方法 訓練教材の活用 訓練の評価 安全と衛生	A A A A A A A A A	A A A A A A A A A				
電気・電子系						
1. シーケンス制御実習 シーケンス回路 プログラミング・コントローラ			A B	A B	A A	A A
2. パソコン制御実習 ロボット制御システム BASICプログラミング マシン語 マイン教育用モジュール基礎 // 実践・応用 ワンボードマイコン			B * * B * *	B * * B * *	* * * * * *	* * * * * *
3. メカトロニクス実習 位置決め制御 サーボ制御 空圧制御 ロボット制御			* * B *	* * B *	* * B *	* * B *

(注) * 今後の実施予定

5. 教材作成状況

教材作成状況

教材開発

科 名	教材名 (ページ)	作成年月	C/P作成関与の有無
共通	VIDEO PRODUCTION (80頁)	現在作成中 9月下旬原稿 完成予定。	英文にて作成。タイ語の 翻訳はC/Pおよび秘書が 行う。
	OHP & TP MAKING	現在作成中	英文にて作成。タイ語の 翻訳はC/Pおよび秘書が 行う。
電気・電子	VIDEO SOFT [SOLDERING IRON]	完成済み。 各 INSTITUTE へ配布済み。	C/PおよびAV UNITスタッ フとともに製作。
指導員訓練	指導員マニュアル	完成済み。	日本語で作成。タイ語翻 訳は外注。C/Pは内容に ついてディスカッションに参加

教材作成状況

1991年6月現在

指導員訓練科

分野	教材名(ページ)	作成年月	C/P作成関与の有無・状況
指導技法	ビデオによるトレーナー訓練 ワークブック (P.170)	1989年 6月 完成済み	専門家が英文マニュアルを再 編集。
同上	実技教科指導方法 (P.24)	1989年12月 完成済み	専門家が英文で作成。C/P及 び秘書が校正。
同上	職業訓練指導員マニュアル (P.114)	1991年 4月 完成済み 印刷 500部	専門家が日本語で作成。タイ 語の翻訳・印刷は外注。 C/Pは校正や内容について協 議に参加。
電気・電子系	プログラマ・コントラ (PC) プログラミング・マニュアル (P.85)	原稿は完成。 翻訳・印刷は 1991年 8月 完成予定	専門家が英文で作成。タイ語 の翻訳・印刷は外注。 C/Pは校正や内容について協 議に参加。
同上	マイクロ・レポート (A-ブマスター EX) 実習マニュアル (P.150)	1991年 2月 完成済み	専門家が英文マニュアルを再 編集。
同上	マイコン教育マガ (PZ-80) 実習マニュアル	1991年 7月 完成予定	専門家が英文で作成。C/Pが タイ語の翻訳と校正。
同上	先着優先回路の実習教材	1989年 8月 完成済み	専門家が設計・レイアウトし C/Pが制作。
同上	簡易リフト回路の実習教材	1989年10月 完成済み	同上
同上	3階レベル回路の実習教材	1989年12月 完成済み	同上
同上	バスコンバート回路の実習教材	1990年 2月 完成済み	同上
同上	交通信号機回路の実習教材	1990年 3月 完成済み	同上
同上	エリフンダ回路の実習教材	1990年 5月 完成済み	同上

3-3 専門家派遣実績

(1) 長期専門家

分野	氏名	派遣期間
チーフアドバイザー	小山 拓治	S63.12/16 ~ H3.12/15
業務調整	鈴木 優	S63.10/ 3 ~ H3.10/ 2
指導技法	(電子) 舟橋 功	S63.10/13 ~ H3.10/12
教材開発	(機械) 渡辺 隆昭	S63.10/13 ~ H2.10/12
	(全般) 金丸 順夫	H 2.10/ 5 ~ H4.10/ 4
機械	加藤 弘	S63.12/16 ~ H2.12/15
機械	富永 直幸	H 2.12/ 3 ~ H4.12/ 2
電気・電子	小野村 喜介	S63.12/16 ~ H3.12/15
電気・電子	久保田 秀明	S63.12/16 ~ H3. 3/26
電気・電子	岩元 敏郎	H 3. 3/14 ~ H5. 3/13
自動車整備	平山 正己	S63.12/16 ~ H3.12/15
セラミック	森元 志郎	S63.12/16 ~ H3.12/15

(2) 短期専門家 (実績及び派遣計画)

分野	氏名	派遣期間
1. 冷凍・空調	植良秀夫	H元10/ 5~H元12/ 5
2. 溶接	小渡邦昭	H元11/ 6~H元12/26
3. 視聴覚教材	熊谷康博	H元11/13~H 2 1/19
4. 視聴覚教材	飯島雅史	H元11/13~H 2 1/19
5. 塗装	高平 厚	H 2 2/1~H2 3/31
6. 農業機械	阪田米造	H 2 2/28~H 2 5/ 1
7. 自動車板金	八木沢敏夫	H 2 4/10~H 2 6/ 9
8. 据付	田中幸市	H 2 5/ 6~H2 5/24
平成2年度		
9. 視聴覚教材	飯島雅史	H 3 4/ 2~H 3 6/ 1
10. 家具製作	渡部勝仁	H 2 11/ 9~H 2 12/26
11. 機械据付	相川文英	H 3 3/14~H 3 4/ 3
平成3年度		
計 画		
12. オートバイ修理		2カ月
13. 配管		2カ月
14. 冷凍空調		2カ月
15. オートバイ修理		2カ月

3-4 カウンターパート研修員受入れ実績

専門分野	氏名	研修期間
昭和63年度		
1. 指導技法	Mr. Santara Gettapan	S63. 6月～H元. 3月
2. 教材開発	Mr. Charoen Yinglam	S63. 6月～H元. 3月
3. 機械	Mr. Tanat Srina	S63. 11月～H元. 8月
4. 溶接	Mr. Santi Srikuleha	S63. 11月～H元. 8月
5. 自動車整備	Mr. Surapol Pochimueng	S63. 11月～H元. 8月
6. 電気	Mr. Panya Sctha	S63. 11月～H元. 8月
平成元年度		
計画		
専門分野	氏名	
1. 管理・運営	Mr. Danai Ketsiri	
2. 訓練計画	Mr. Cyariya Khantavit	
3. 指導員訓練	Miss Rachanee Suwattee	
4. セラミック	Mr. Prinya Nuangudom	
平成2年度		
1. 機械	Mr. Chainrin	H 3. 2/24～H 3.10/3
2. 自動車整備	Mr. Pongsak	H 3.2/24～H 3.10/3
3. 電子	Mr. Chusak	H 3.2/24～H 3.10/3
4. 家具製作	Mr. Monchai	H 3.2/24～H 3.10/3
平成3年度		
計画		
1. 配管	Mr. Kitisak	
2. 塗装	Mr. Kanapong	
3. 農機	Mr. Sonboonsuk	
4. 電気	Mr. Chana	
5. 教材開発	Ms. Keaoon	

3-5 機材供与実績

昭和63年度	70,000
平成元年度	80,000
平成2年度	40,000
平成3年度	43,000

(単位千円)

3-6 ローカルコスト負担実績・計画

* 現地業務費定期送金分及び貧困国対策費を除く

(平成2年度実績)

現地業務費臨時送金 (資機材・消耗品購入)	5,930
現地業務費臨時送金 (出張旅費)	2,423
技術普及広報費 (パンフレット作成)	335
現地業務費臨時送金 (NISD 出張・調査)	2,954
技術交換費 (CIASST・CEVEST)	1,896
応急対策費 (自動車整備科実習場の排水・電気科第一種設置工事)	624
セミナー開催費 (自動車系)	1,505
現地語教科書作成費	424
計	16,091 (単位千円)

(平成3年計画)

現地業務費臨時送金 (NISD 出張・調査)	8,000
技術普及広報費 (パンフレット・ポスター作成)	1,000
現地語教科書作成費 (全科)	5,000
計	14,000 (単位千円)

4 実施運営上の問題点

4-1 UBISD

(1) UBISDにおいては、概して、技術移転が順調に進展しており、各分野ともより進んだ機材等に係る訓練に関する技術移転や教材開発等が課題となっている。

しかしながら、自動車整備分野については、C/Pが移動訓練、向上訓練に時間をとられて、日本人専門家から技術移転を受ける時間・機会が十分でなく、教材の開発等の技術移転に遅れをきたしているとの問題が生じていた。

この問題は、前回の調査団においても、『日本人専門家と協議のうえ、C/Pの技術移転の時間の確保について実行ある訓練実施計画を策定し実施すること』により改善することが合意されたが、移動訓練の要望が強く依然として、養成訓練を中心とした技術移転の阻害要因となっている。

(2) 今回の調査団において、技術移転状況を評価したところ、

C/Pと日本人専門家が移動訓練を考慮しつつ、技術移転計画を策定したが、移動訓練需要の増大等により、依然として、技術移転のための時間・機会が十分でない

C/Pは、日本人専門家の援助なしには、体系的に訓練を行うこと、及び訓練機器のメンテナンス等に未熟な状態にある。

教材開発、動力伝達装置・エンジン、故障診断、点検整備等の各分野（特に、先端技術に関するもの）についての技術移転が不十分な状態にある。

と、判断された。

さらに、タイ当局と意見交換をしたところ、最近の技術革新に対応した訓練を行うためには、技術移転はなお不十分であり、協力期間の延長の要請がなされた。

(3) これに対して、調査団では、技術移転を確保のために延長の必要性は認めるものの、C/Pの技術移転のための機会、時間を確保する具体的手段の実施が必要であるとし、タイ当局に、具体的対応を求めたところ、

養成訓練に重点をおいた技術移転を確保するために、C/P(11人)を3つのグループに分けて、交代で計画的に技術移転(養成訓練分野を中心とする。)に集中できる体制を作り、具体的な技術移転の計画を策定する。また、当該計画とその実績を毎月のDOLの局議に提出し、フォローアップをする。

との、案が示されたため、調査団では、自動車整備、車体整備、農業機械の自動車系3コースについて協力期間を93年9月30日まで延長することとした。

- (4) UBISDにおけるプロジェクト阻害要因としては、移動訓練要請の増加による技術移転の遅れが懸念される。

移動訓練については、NISDの訓練実施計画で各職業訓練施設(全国9カ所)の目標が掲げられているが、UBISDについては、協力中のプロジェクトでもあり、その目標割当から特別に免除されている。

UBISDは、この地域にただ一つの職業訓練施設であり、県事務所からの直接要請によるもの国家的な(グリーンイサーンプロジェクト)は実施せざるを得ず、そのことが養成訓練分野の技術移転の阻害要因となっている。また、政権交代によりその養成が強まっており、これまでも、昨年ミニッツにもあったとおり、専門家とC/Pが協議をして技術移転計画を策定し実施することとしていたが、移動訓練需要の増大から、策定された計画どおりには技術移転はなかった。今回の協議により、再び合意された、技術移転計画の策定、特に養成訓練に関する技術移転に重点をおいたその実施については、特に注意を払う必要がある。

- (5) 終了者が、バンコク地区に流出して就職しており、地元に着する率は50%程度であり、地元定着の促進が課題となっている。

イサーン地区への企業進出はあまり進んでおらず、バンコク地区との賃金格差はかなりのものがあり、流出の一因となっている。

4-2 NISD

- (1) NISDでは、技術革新に対応した職業訓練指導員の確保が大きな問題となっており、このため、タイ当局では、職業訓練指導員採用要件の緩和とそれに伴う職業訓練指導員訓練過程の強化を検討している。

- (2) こうした中で、タイ当局では、日本から供与されたNC機器等を活用した指導員訓練等の拡充を図るため、NISDへの機械分野の日本人専門家の追加派遣を要望した。

調査団では、日本人専門家が助言する分野と体制に関して、日本から供与された機器を活用した電気・電子、機械分野の指導員訓練に関する技術移転について船橋専門家の後任者及び新たに追加派遣される専門家が携わり、金丸専門家が教材開発・指導技法に関する技術移転に携わる体制で合意し、タイ側では機械分野のC/Pを2名すでに配置済みであることを確認した。これを受けて、機械分野の専門家の追加派遣をタイ当局に約束した。

- (3) NISDには、NC自動プログラミング装置、CNC旋盤等のメカトロ機器があるが、一部機器の基本操作を除いて技術移転は行われておらず、今後は、メカトロ分野の指導員

訓練の実施のための技術移転が課題となる。

4-3 チーフ・アドバイザーの勤務地の移動

1988年4月8日署名のミニッツに掲げられた、従来 UBISD を主たる勤務地としていたチーフ・アドバイザー及び調査員の勤務地の検討については、

- (1) UBISD の運営はほぼ順調であり、軌道にのった感がある。また、基本的な事項で調整を要する問題も当面みられないこと、
- (2) 一方、NISD では、今度追加派遣することとなった機械分野の専門家を合わせて今後、上記4-2の体制で協力することとなり、タイ当局との調整が相対的に重要であることから、チーフ・アドバイザーの主たる勤務地を NISD とすることとし、調整員については、UBISD の訓練体制維持のため、引き続き UBISD を主たる勤務とした。

なお、チーフ・アドバイザーの責任内容には、何らの変更を加えないことをタイ当局に通知するとともに、チーフ・アドバイザーについては、NISD への移動後も、

- ① UBISD 運営に関する調整員との責任の分担に対しては変更せず、月のうち3分の1程度は UBISD で勤務すること
- ② 専門家会議及び UBISD における合同会議開催の確保とリーダーの出席

を行うこととした。

4-4 カウンター・パートの確保

未配置であるカウンターパートは、電子1名、機械1名、セラミック1名であり、タイ側は、引き続きその確保に努力することを約束した。

4-5 その他

タイ側では、日本人専門家が、特に日系企業と頻繁にコンタクトをして、訓練ニーズの把握のために企業との連絡の窓口となって欲しいとの申し出があったが、R/Dの範囲をこえてしまうおそれもあり、教材開発のための一般的義務としての現地訓練ニーズの把握については自明でもある旨を説明したところ、タイ側は、この点についての明確化を求めた。

5. ミニッツ

THE MINUTES OF DISCUSSIONS
BETWEEN THE JAPANESE MUTUAL CONSULTATION TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE KINGDOM OF THAILAND
ON
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE UBON INSTITUTE FOR SKILL DEVELOPMENT PROJECT

The Japanese Mutual Consultation Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Sukeo Haranaka, visited the Kingdom of Thailand from June 19 to June 28, 1991 for the purpose of evaluating the progress of the implementation of the Japanese technical cooperation for the Ubon Institute for the Skill Development Project (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Thai authorities.

Through the discussions, both sides agreed on the following points for the purpose of smooth and complete implementation of the Project.

Bangkok, June 26, 1991

原中祐生

Sukeo HARANAKA
Leader
Mutual Consultation Team
Japan International
Cooperation Agency
JAPAN

Prasong Rananand.

Prasong RANANAND
Director-General
Department of Labour
Ministry of Interior
THE KINGDOM OF THAILAND

THE ATTACHED DOCUMENT

1. EXTENSION OF THE TERM OF TECHNICAL COOPERATION

After a through review of the Progress Report presented by the Thai authorities, the Team understood that the Project had implemented almost successfully.

However, Thai authorities expressed that it is necessary to extend the term of technical cooperation in the following trades with three (3) years cooperation term, because expected technical transfer will not have been completed until December 1991.

Through the discussions, both sides agreed that the term of technical cooperation in the following trades will be extended until Sep.30, 1993 based on the analysis of the present situation;

- (a) Agro-Mechanic
- (b) Auto-body Repair
- (c) Auto-Mechanics

The Team requested the Thai authorities to take necessary measure of the following matters in all trades.

- (a) Efforts to secure enough time and opportunity of the Thai C/P to promote technical transfer especially on Pre-Employment Training Course.
- (b) In this regards, substantial plans for the implementation of technical transfer should be done until the expiry of technical cooperation term in the respective trade.

2. ASSIGNMENT OF THAI COUNTERPART PERSONNEL (C / P)

The Thai authorities reviewed the progress of the assignment of Thai C/P and stated that they have made all the efforts to fill the vacant posts in the following trades and branch;

- (a) Mechanics. 1
- (b) Electric 1
- (c) Construction 1

The Team stated the delay of the assignment of C/P had brought the serious difficulties for the technical transfer.

In this regards, the Team strongly requested the Thai authorities to hasten the recruitment of the C/P mentioned above.

(Handwritten initials)

- Rana nan

3. DISPATCH OF ADDITIONAL LONG TERM EXPERT

The Thai authorities stated that the materials and equipments of NISD donated by JICA should be full utilized by technical transfer from Japanese expert in order to meet the needs of labour market.

In this regards, the Thai authorities requested for the dispatch of Japanese Expert in the field of Mechanics to NISD and stated that they already assigned two (2) C/P from Instructor Training Branch for the expert.

The Team responded that the Japanese side had been ready to accept the request when it gets to JICA through the official channels and requested the Thai authorities to make the actual plan of the Japanese cooperation for the instructor training in Machinery, Electronics and the training aid development.

4. TRANSFER OF CHIEF ADVISER AND COORDINATOR TO NISD

After discussing the possibility of the transfer of Chief Adviser and Coordinator from UBISD to NISD which was mentioned in the Minutes signed on April 8, 1988, both sides agreed to the move of Chief Adviser from UBISD to NISD because the implementation of the Project at UBISD was getting under way and it needs to promote further active linkage of the training between UBISD and NISD in the remaining period of the Project.

5. BUDGET OF THE PROJECT

The Thai authorities have already allocated the budget for the Project.

The Team appreciated the efforts by Thai authorities and also expressed the hope that the Thai authorities make continual efforts to financial support to cover the shortage of the training materials.

6. OTHER ISSUE

The Thai authorities stressed that Japanese Experts and C/P should make efforts to conduct the research on training needs from the industry to develop training manuals and training course effectively.

[Handwritten mark]

[Handwritten signature]

付属資料

1. カウンターパートの配置状況

(1) UBISD

NO.001

UBISD C/P ASSIGNMENT

January 1st, 1991

	POSITION	PC	NAME	ASSIGNMENT	REMARK
1	※Director of UBISD	7	Mr. Preecha Srithunya	Apr. 8, 1988	
	※General Administration Branch				
2	Chief of Branch	5	Mr. Chaiprakarn Puangtai	Apr. 8, 1988	
	General Service Unit				
3	Chief of Unit	5	Miss. Quanta Tekhapun	May 1, 1989	
4	General Service Officer	1	Mrs. Boonlert Kadtong	May 25, 1989	
5	Typist	1	Miss. Viraporn Buran	July 24, 1989	
6	Typist	1	Miss. Nuch Kawinantachai	July 24, 1989	
	Finance, Storage and Vehicle's Unit				
7	Chief of Unit	3	Miss. Sirithorn Laohawilai	Aug. 1, 1989	
8	Nurse	4	Mrs. Chalcow Supason		
9	Storage Campus Officer	3	Mr. Suchat Janarm	May 1, 1989	
10	Storage Campus Officer	1	Miss. Pichayalak Saiwaen	July 25, 1989	
11	Storage Campus Officer	1	Miss. Noo-oy Bunchoi	July 25, 1989	
12	Storage Campus Officer	1	Miss. Sirirak Lekmani	July 26, 1989	
13	Storage Campus Officer	1	Miss. Pornsiwalak Nonsiri	July 25, 1989	
	※Coordination Branch				
14	Chief of Branch	6	Mrs. Chuthamart Boonash	May 1, 1989	
	Planning & Evaluation Unit				
15	Chief of Unit (Planning Officer)	5	Miss. Keayoon Kanarungreung	May 1, 1989	
16	Evaluation Officer	3	Miss. Vipatip Khanmet	May 1, 1989	
	Recruitment & Coordination Unit				
17	Chief of Unit (Recruitment Officer)	5	Miss. Darunee Panpetch	May 1, 1989	
18	Trade Testing Officer	3	Mrs. Poranee Suknum	May 1, 1989	
19	General Service Officer	1	Mrs. Pilaivan Krangdet	May 1, 1989	
	Training Aid Unit				
20	Audio-visual Officer	3	Miss. Tasanee Misawas	Nov 15, 1989	
21	Librarian	1	Miss. Somboon Chaivichit	Sep. 18, 1989	

	POSITION	PC	NAME	ASSIGNMENT	REMARK
22	<u>※In-plant & Special Training Branch</u> Chief of Branch	6	Mrs. Dungchan Chairaj	May 1, 1989	
23	<u>In-plant Training Unit</u> Chief of Unit	5	Miss. Nuntip Pungenoi	May 1, 1989	
24	(In-plant Training) Up-grading Officer	3	Mr. Loepong Tuengniem	Aug. 1, 1989	
25	General Service Officer	1	Miss. Orathai Patumban	May 25, 1989	
26	<u>Special Training Unit</u> Chief of Unit	3	Miss. Lundoun Meedee	May 2, 1990	Miss. Thanom was transferred.
27	(Special Training) Special Training Office	3	Mr. Suwit Chotchamras	Oct 20, 1989	
28	General Service Officer	1	Miss. Chanya Songprakoon	May 25, 1989	
29	<u>※Machine Shop Branch</u> Chief of Branch	6	Mr. Tanat Srina	Nov. 27, 1988	Sept 1st, 1989 came back from Japan
30	<u>Machine Shop Unit</u> Chief of Unit	5	Mr. Chainarin Phapiyo	Jan. 1, 1989	quitted on Feb. 1990
31	Machine Training Office	3-4			
32	Vocational Training Off	2	Mr. Kamjad Chai-ngam	Mar. 1, 1989	
33	<u>Welding & Sheet Metal Training Unit</u> Chief of Unit	5	Mr. Wichai Pewsarad	Jan. 1, 1989	
34	Welding Training Office	4	Mr. Santi Srikulcha	Nov. 27, 1988	Sept 1st, 1989 came back from Japan
35	<u>※Automotive Branch</u> Chief of Branch	6	Mr. Surapol Poochimweng	Nov. 27, 1989	Sept 1st, 1989 came back from Japan
36	<u>Auto-Mechanic Unit</u> Chief of Unit	5	Mr. Pongsak Martmarai	Jan. 1, 1989	
37	Auto-Mechanic Officer	3	Mr. Jadsada Chanuraj	Apr. 16, 1990	
38	<u>Auto-Body Repair and Agro-Mechanic Unit</u> Chief of Unit	5	Mr. Somboonsuk Nakeerak	May 1, 1989	
39	(Agro-Mechanic) Auto-Body Repair Office	3	Mr. Kusol Thiaposot	May 1, 1989	

	POSITION	PC	NAME	ASSIGNMENT	REMARK
40	※ <u>Electrical & Electronics Branch</u> Chief of Branch	6	Mr. Narong Cheumburnrod	Jan. 1, 1989	
41	<u>Electrical Unit</u> Chief of Unit	5	Mr. Panya Seta	Nov. 27, 1989	Sept 1st, 1969 came back from Japan
42	<u>Electronics Unit</u> Chief of Unit	4	Mr. Chusak Theuiprasong	Jan. 1, 1989	
43	<u>Air-Condition & Refrigeration Unit</u> Air-Condition Officer	4	Mr. Kasam Tokomkam	Oct 5, 1989	
44	Refrigeration Officer	2	Mr. Pethlek Tongpathong	Nov 15, 1990	
45	※ <u>Building Construction Branch</u> Chief of Branch	6	Mr. Sathaporn Ketikaruda	Jan. 1, 1989	
46	<u>Cabinet Making Unit</u> Chief of Unit	3	Mr. Monechai Awidthewn	Mar. 1, 1989	
47	<u>Plumbing Unit</u>	3	Mr. Kittisak Daowaingkan	Aug. 7, 1989	
48	<u>Painting Unit</u>	4	Mr. Kanapong Thepakorn	Aug. 7, 1989	改名
49	<u>Ceramic Unit</u> Chief of Unit	4	Mr. Prinya Neung-Udom	Jan. 1, 1989	
50	Vocational Training Officer	2	Mr. Suthipong Kongkaluck	Apr 16, 1990	
51	Vocational Training Officer	2	Mr. Atid Yukong	Apr 10, 1990	

UBISD INSTRUCTORS (PERMANENT EMPLOYEE)

NO. 004

	POSITION	GRADE	NAME	ASSIGNMENT	REMARK
	*Automotive Branch				
1	Auto-Mechanic	4	Mr. Thongsuk Phatham		
2	Auto-Mechanic	4	Mr. Pann Kourakmuang	Sep 25, 1990	
3	Auto-Mechanic	4	Mr. Manoj Sontirak	June 29, 1989	
4	Auto-Body Repair	4	Mr. Supee Sukanasang		
5	Agro-Mechanic	4	Mr. Chumrat Charoenket		
6	Agro-Mechanic	4	Mr. Songsak Suthisa		
	*Machine Shop Branch				
7	Machinist	4	Mr. Sa-ngob Boonlom		
8	Machinist	4	Mr. Sanchai Ratanavibol	June 29, 1989	
9	Machinist	4	Mr. Chiew Ritkaesorn	June 29, 1989	
10	Welder (Arc Welding)	4	Mr. Thumrong Viriyapim		
11	Welder (Gas Welding)	4	Mr. Amorn Mongpanklang		
12	Welder (Sheet Metal)	4	Mr. Sudchai Archanon		
13	Welder	4	Mr. Jooapol Bowchung	Sep 25, 1990	
	*Electrical & Electronic Branch				
14	Electrician	4	Mr. Chana Kwanprom	June 29, 1989	
15	Electrician	4			
16	Electronics	4	Mr. Pranote Latalo		
17	Air-Condition	4	Mr. Wanchai Priyudsi		
	*Building Construction Branch				
18	Cabinet Maker	4	Mr. Sukho Artsuwan		
19	Painter	4	Mr. Prasit Suwanaket		
20	Painter	4	Mr. Rat Watcharasaevae	Sep 25, 1990	
21	Plumber	4	Mr. Thaveesak Klaitanote		
22	Ceramics	4	Mr. A-kom Obrom	Sep. 27, 1989	
23	Ceramics	4	Mr. Verachai Kundang	Sep. 27, 1989	
	*Drivers				
	Driver		Mr. Samorn Kumpakit		
	Driver		Mr. Somwung Pratong		
	Driver		Mr. Wichan Pawung		
	Driver		Mr. Prakorb Boonya		

(2) NISD

教材開発
カウンタートパート配置計画・実績

分野/氏名	日本派遣計画実績	配置年月日	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考(年齢・職位)
教材作成 Mr. Somchart Teva-varadon		1990.10.11													Chief of Training Aid Centre (歳)
指導員訓練 Mr. Charoen Yingram		1990.10.11													Instructor Development Unit (37歳)
カリキュラム開発 Ms. Inthana Unahasuvan		1990.10.11													Chief of Curriculum Development Unit (39歳)

(注) 上表は、S1年6月現在

カウソクダノバノクニ配置計画 - 実績

指導技法

1991年6月現在

分野/氏名	日本派遣計画実績	配置年月日	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考(年齢・職位)
指導員訓練科 デヂャット Mr. Dejanan		1988年10月													主任、1990年4月異動 PC 6 (52才)
外 ウダ Mr. Udom		1990年 5月													主任、上記者の後任 PC 6 (41才)
チャーン Mr. Charoen	6カ月(1988.10.3 ~1989.3.25)	1988年10月													指導技術担当 PC 5 (37才)
バンジョン Mr. Banjong		1990年10月													電気・電子系担当 PC 4 (34才)
アチャイ Mr. Athachai		1990年10月													電気・電子系担当 PC 4 (31才)
電気・電子科 サンタ Mr. Santana	6カ月(1988.10.3 ~1989.3.25)	1988年10月													電子科主任 PC 6 (41才)
アチャイ Mr. Boonchai		1989年10月													電子科教員 PC 5 (32才)

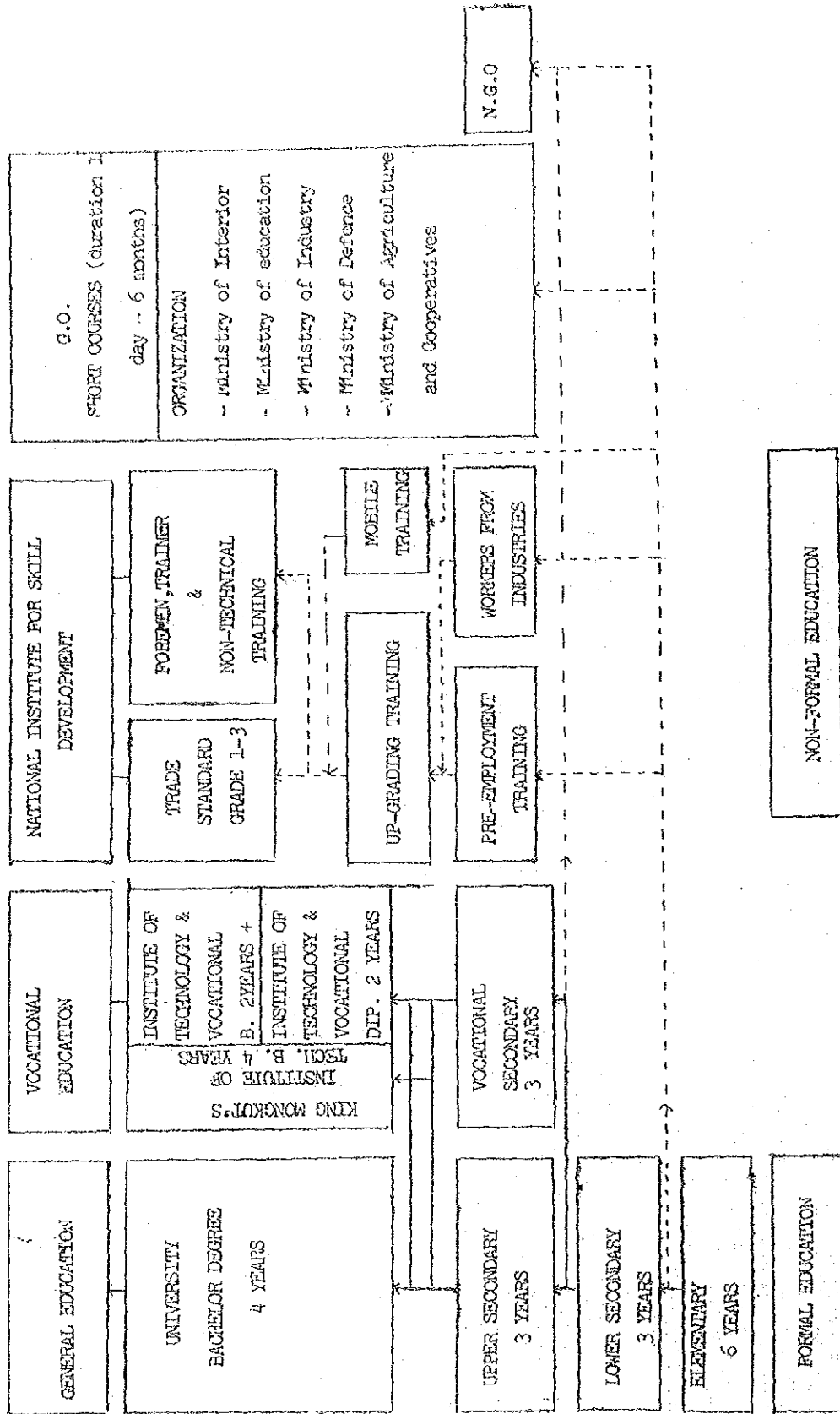
2. 現行教育システム

Nursery School	Primary Education (Compulsory)	Secondary Education		Higher Education	
		Lower Secondary	Upper Secondary		
	Primary School 1 2 3 4 5 6	1 2 3	4 5 6	1 2 3 4 1 2 1 2 3 4 5 6 1 2 3 4 1 2 3 4 5 6 1 2 3 1 2 3 4 1 2 3 4 5 1 2	Teacher Training University University University Technical/Job Training Technical/Job Training Cadet Academy Police Academy Music/Drama School
Age 5 6	7 8 9 10 11 12	13 14 15	16 17 18	19 20 21 22 23 24	(Average ages)

3. タイ国における職業訓練システムとDOLの役割

THAILAND EDUCATIONAL SYSTEM VOCATIONAL TRAINING

and THE ROLE OF DEPARTMENT OF LABOUR



4. 1990年度プロジェクト予算

THE BUDGET OF WORK/PROJECT DIVIDED BY PROVINCE

Fiscal year 1991

Ministry : Interior
 Department : Labour
 Working plan : Administration & Development of Labour
 Work/Project : UBISD

Ng. 203 kh.

Accounting code
 Working Unit work/Project
 09080 21711

Center / Province		Expense							Total
Province	Code	Salary & permanent hire	Temporary hire	Expenditure & materials	Public utility expense	Facilities & Land Construction expense	Additional & others	Total	
NISD *	000000		207,000	2,000,000 *	100,000	(Including Staff House) 8,502,000	-	14,034,100	
1 st payment			69,000	655,100	30,000	6,502,000	-	8,997,800	
2 nd "			69,000	689,900	35,000	-	-	2,535,600	
3 rd "			69,000	655,000	35,000	-	-	2,500,700	
UBISD	030500	5,225,100	27,600	4,370,000	900,000	1,002,000	-	6,299,600	
1 st payment		1,741,700	9,200	1,748,000	400,000	1,002,000	-	3,159,200	
2 nd "		1,741,700	9,200	1,748,000	300,000	-	-	2,057,200	
3 rd "		1,741,700	9,200	874,000	200,000	-	-	1,065,200	
Total		5,225,100	234,600	6,370,000	1,000,000	7,504,000	-	20,333,700	

(訓練資料含)

* NISD = Instructor training

* Expenditure & materials at NISD = Including the expense for S.C.I. Co., Ltd.

1991年度プロジェクト予算

THE BUDGET OF WORK/PROJECT, DIVIDED BY PROVINCE

Fiscal year 199D
 (1989. Oct-1990. Sep)
 Working Unit work/Project

Ministry : Interior
 Department : Labour
 Working plan : Administration & Development of Labour
 Work/Project : UBISD

kg.
 Accounting code

Center / Province		Expense							Total
Province	Code	Salary & permanent hire	Temporary hire	Expenditure & materials	Public utility expense	Facilities & Land Construction expense	Additional & others	Total	
NISD #	000000		234,600	1,965,100	100,000	4,220,300		6,520,000	
1 st payment			79,200	655,100 (Cl. other)	30,000	NISD Instructor Training Building k. UBISD staff House			
2 nd "			78,200	655,000 (")	35,000				
3 rd "			78,200	655,000 (")	35,000				
UBISD		4,372,700		3,164,400	800,000	10,700		8,347,800	
1 st payment				1,054,800	300,000				
2 nd "				1,054,800	300,000				
3 rd "				1,054,800	200,000				
Total		4,372,700	234,600	5,129,500	900,000	4,231,000		14,867,800	

(訓練資材含)

* NISD = Instructor training

* Expenditure & materials at NISD = Including the expense for S.C.I. Co., Ltd.

5. U B I S D 養成訓練統計資料

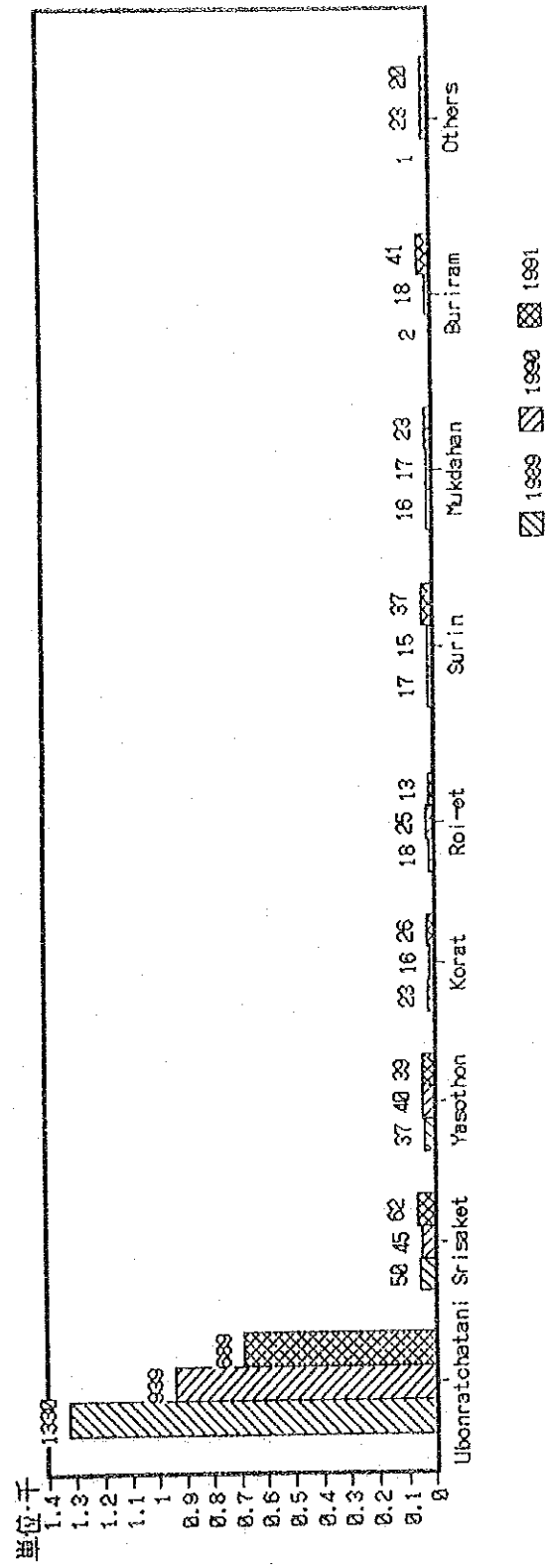
Data of UBISD Pre-employment Training

- DATA 1-1. 出身県別応募者数 (1989年～1991年)
Applicants from Each Province (1989 ~ 1991)
- DATA 1-2. 出身県別応募者数 (各年度毎の出身県別割合)
Applicants from Each Province (Ratio of Each Year)
- DATA 2. 出身県別合格者数 (1989年～1991年)
Successful from Each Province (1989 ~ 1991)
- DATA 3-1. 職種別応募者数 (U B I S D 全体)
Applicants of Each Trade (All of UBISD)
- DATA 3-2. 職種別応募者数 (各系毎各科)
Applicants of Each Trade (Each Unit of Each Branch)

DATA 1-1. 出身県別応募者数 (1989年~1991年)
 Applicants from Each Province (1989 ~ 1991)

NUMBER OF APPLICANTS FROM EACH PROVINCE

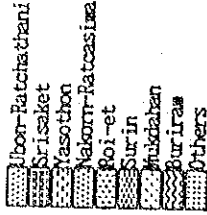
PROVINCES	1989	1990	1991
Ubonratchatani	1330	939	689
Srisaket	50	45	62
Yasothon	37	40	39
Korat	23	16	26
Roi-et	18	23	13
Surin	17	15	37
Mukdahan	16	17	23
Buriram	2	18	41
Others	1	23	20
Total	1494	1138	950



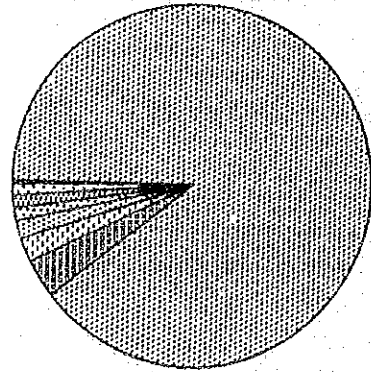
DATA 1-2. 出身県別応募者数 (各年度毎の出身県別割合)
 Applicants from Each Province (Ratio of Each Year)

NUMBER OF APPLICANTS FROM EACH PROVINCE

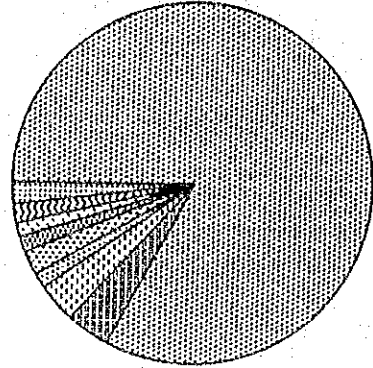
PROVINCES	1989	1990	1991
Ubon-Ratchathani	1330	939	689
Srisaket	50	45	62
Yasothon	37	40	39
Korat	23	16	26
Roi-et	18	25	13
Surin	17	15	37
Mukdahan	16	17	23
Buriram	2	18	41
Others	1	23	20
Total	1494	1138	950



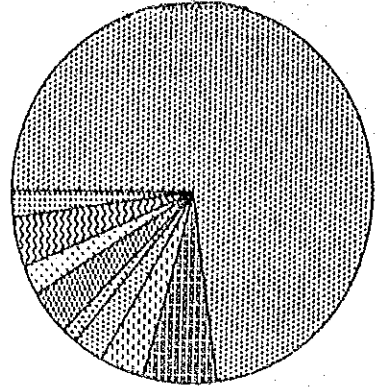
1989



1990



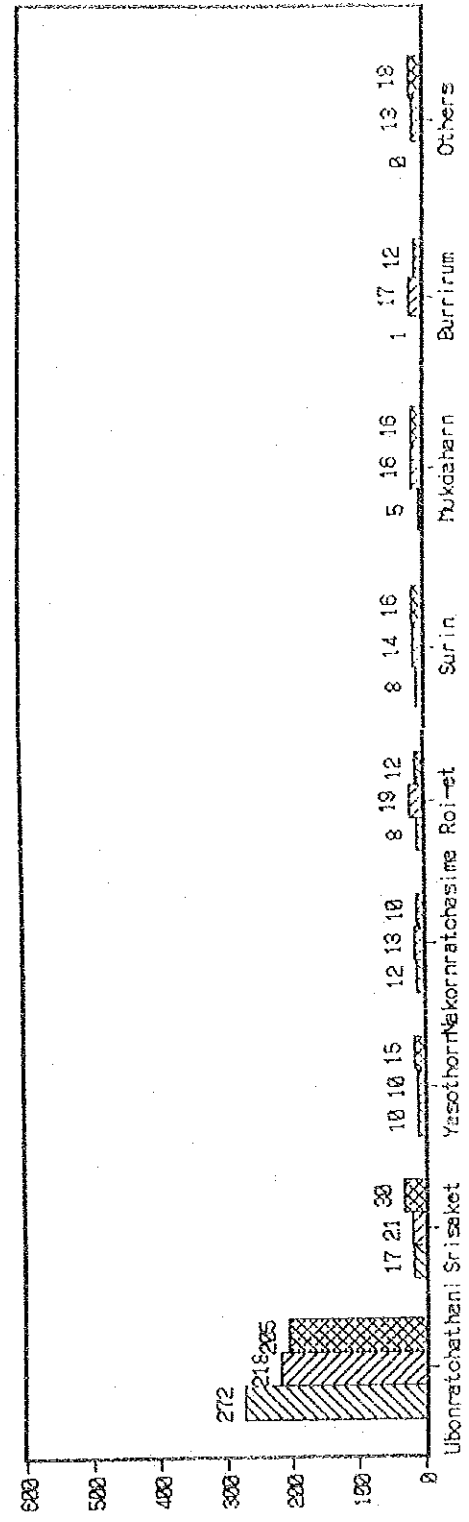
1991



DATA 2. 出身県別合格者数 (1989年～1991年)
 Successful from Each Province (1989 ~ 1991)

NUMBER OF SUCCESSFUL FROM EACH PROVINCE

PROVINCES	1989	1990	1991
Ubonratchathani	272	218	205
Srisaket	17	21	30
Yasothon	10	10	13
Nakornratchasima	12	13	10
Roi-et	8	19	12
Surin	8	14	16
Mukdaharn	5	16	16
Burirum	1	17	12
Others	0	13	18
TOTAL	333	341	334



▨ 1989 ▩ 1990 ● 1991

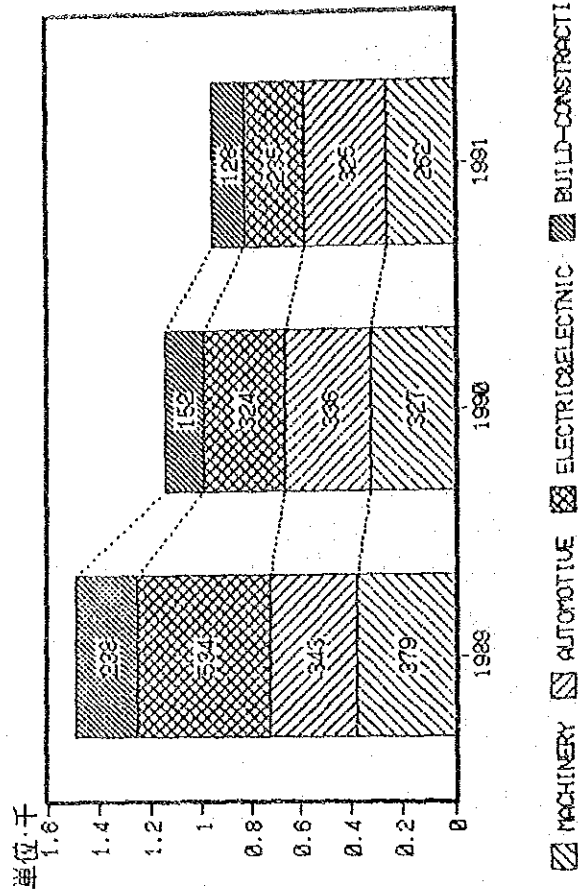
DATA 3-1. 職種別応募者数 (U B I S D 全体)
Applicants of Each Trade (All of UBISD)

NUMBER OF APPLICANTS OF EACH TRADE

COURSE OF TRAINING	1989	1990	1991
Machine	209	206	163
Welding	170	121	99
Auto-Mechanics	223	246	242
Agro-Mechanics	63	42	50
Car Body Repair	57	48	33
Electrics	194	151	90
Electronics	195	105	90
Air Conditioning	145	68	53
Cabinet Making	43	34	29
Painting	76	48	31
Plumbing	52	32	13
Ceramics	67	38	26
Assistant Foreman			29
TOTAL	1494	1139	950

BRANCH	1989	1990	1991
MACHINERY	379	327	262
AUTOMOTIVE	343	336	325
ELECTRIC&ELECTRONIC	534	324	235
BUILDING CONSTRUCTION	238	152	128
TOTAL	1494	1139	950

APPLICANTS OF EACH BRANCH



平成2年度『養成訓練』応募者・合格者及び修了者数 (第2期生)
 PRE-EMPLOYMENT COURSE IN 1990

JUNE 1989 ~ MAY 1990

- ANNEX 1. 出身県別応募者数と合格者数 (APPLICANTS AND SUCCESSFUL ON EACH PROVINCE)
- ANNEX 2. 職種別応募者数と合格者数含競争率 (APPLICANTS AND SUCCESSFUL ON EACH TRADES)
- ANNEX 3. 合格者の学歴レベル (ENROLLMENT LEVEL OF SUCCESSFUL)
- ANNEX 4. 応募者の構成比 (APPLICANT'S AGE)
- ANNEX 5. 工場内訓練派遣先別訓練生数 (ASPECT OF IN-PLANT TRAINING)
- ANNEX 6. 卒業者数及びドロップアウト (GRADUATE AND DROP OUT)

REMARKS:

- * 募集期間 平成2年 3月12日 ~ 平成2年 4月27日
- * 入学試験 筆記 平成2年 5月 2日
- * 入学試験 面接 平成2年 5月 4日
- * ガイダンス 平成2年 6月 1日 ~ 平成2年 6月 2日
- * 入校式・訓練開始 平成2年 6月 4日
- * 工場内訓練
- * 修了式

ANNEX 1.

出身県別応募者数と合格者数
(APPLICANTS AND SUCCESSFUL)

	APPLICANTS			FINAL SUCCESSFUL				
	MALE	FEMALE	TOTAL	%	MALE	FEMALE	TOTAL	%
1. Ubon	907	32	939	82.44	206	12	218	63.37
2. Srisaket	43	2	45	3.95	22	2	24	6.76
3. Yasothon	39	1	40	3.51	9	1	10	2.90
4. Nakhonrachasima	16	-	16	1.40	13	-	13	3.77
5. Roi-Et	25	-	25	2.19	19	-	19	5.52
6. Surin	15	-	15	1.32	14	-	14	4.07
7. Mukdahan	17	-	17	1.49	16	-	16	4.55
8. Buriram	18	-	18	1.58	17	-	17	4.94
9. The Others ※	23	1	24	2.11	12	1	13	3.77
合計	1,103	36	1,139	100.00	328	16	344	100.00

※ Nakhonpanom , Sakonnakorn , Chaipoom , Satoon , Udonthani , Chainart , Kabi , Mahasarakam , Nonthaburi Province

職種別応募者数と合格者数 (合競争率)
(THE RATIO OF SUCCESSFUL)

COURSE OF TRAINING	FIXED NUMBER	APPLICANTS			RATIO OF COMPE	FINAL SUCCESSFUL		TOTAL
		MALE	FEMALE	TOTAL		MALE	FEMALE	
1. Machine	45	204	2	206	4.57	44	1	45
2. Welding	60	121	-	121	2.01	60	-	60
3. Auto-Mechanic	32	246	-	246	7.68	32	-	22
4. Agro-Mechanic	20	42	-	42	2.10	20	-	20
5. Auto-Body Repair	22	48	-	48	2.18	22	-	32
6. Electrics	20	144	7	151	7.55	20	-	20
7. Electronics	20 (2)	101	4	105	5.25	20	2	22
8. Air-Conditioning	20	68	-	68	3.40	20	-	20
9. Cabinet Making	24 (4)	32	2	34	1.41	28	-	28
10. Painting	30	48	-	48	1.60	29	-	29
11. Plumbing	24	32	-	32	1.33	23	-	23
12. Ceramics	20 (3)	17	21	38	1.90	10	13	23
合 計	337 (9)	1,103	36	1139	A.V. 3.38	328	16	344

ANNEX 3.

合格者の学歴レベル

ENROLLMENT LEVEL OF SUCCESSFUL

職 種	入 校 資 格	学 歴 し れ べ る				合 計	新卒者数
		新制小卒 P6	旧制小卒 P9	新制中卒 P13	旧制中卒 P7		
1. Machine	新制中卒・旧制中卒	1		41	0	45	0
2. Welding	新制小卒・旧制小卒	21	0	32	0	60	2
3. Auto-Mechanic	新制小卒・旧制小卒	11	0	19	0	32	3
4. Agro-Mechanics	新制小卒・旧制小卒	12	0	6	0	20	1
5. Auto-Body Repair	新制小卒・旧制小卒	12	0	10	0	22	3
6. Electrics	新制中卒・旧制中卒			16	0	20	0
7. Electronics	新制中卒・旧制中卒			19	0	22	1
8. Air-Conditioning	新制中卒・旧制中卒			18	0	20	2
9. Cabinet Making	新制小卒・旧制小卒	14	1	10	0	28	2
10. Plumbing	新制小卒・旧制小卒	12	0	10	0	23	2
11. Painting	新制小卒・旧制小卒	14	0	14	0	29	3
12. Ceramics	新制中卒・旧制中卒	2		20	0	23	0
計		99	1	218	0	344	19
		28.77%	0.3%	63.37%	0%	100%	5.5%
							7.56%

⑨旧制から新制への移行は 1977年

応募者の年齢構成比
APPLICANT'S AGE

	U>15	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	25<0	計
1. Machine	-	40	39	17	29	46	13	11	5	4	2	-	-	206
2. Welding	-	17	28	15	20	18	12	5	5	1	-	-	-	121
3. Auto-Mechanic	1	36	46	37	41	34	23	7	9	6	4	2	-	246
4. Agro-Mechanics	-	4	5	7	7	3	6	4	3	1	1	1	-	42
5. Auto-Body Repair	-	4	8	15	8	4	3	3	1	1	1	-	-	48
6. Electric	-	24	23	12	23	24	14	13	10	3	5	-	-	151
7. Electronics	-	16	17	15	14	24	8	4	3	2	2	-	-	105
8. Air-Conditioning	-	8	10	10	12	7	11	6	2	1	1	-	-	68
9. Cabinet Making	-	8	9	5	2	5	1	1	2	1	-	-	-	34
10. Plumbing	-	7	8	5	5	1	2	3	1	-	-	-	-	32
11. Painting	-	7	16	9	2	10	2	-	2	-	-	-	-	48
12. Ceramics	-	-	6	7	2	9	6	2	-	4	1	-	-	38
計	1	177	216	149	172	162	97	57	47	21	16	4	-	1,139
	0.09%	15.53%	18.96%	13.08%	15.10%	16.00%	8.52%	5.00%	4.12%	1.84%	1.40%	0.35%	-	

平成元年度『養成訓練』応募者・合格者及び修了者数
 PRE-EMPLOYMENT COURSE IN 1989

JUNE 1989 ~ MAY 1990

- ANNEX 1. 出身県別応募者数と合格者数 (APPLICANTS AND SUCCESSFUL ON EACH PROVINCE)
- ANNEX 2. 職種別応募者数と合格者数含競争率 (APPLICANTS AND SUCCESSFUL ON EACH TRADES)
- ANNEX 3. 合格者の学歴レベル (ENROLLMENT LEVEL OF SUCCESSFUL)
- ANNEX 4. 応募者の構成比 (APPLICANT'S AGE)
- ANNEX 5. 工場内訓練派遣先別訓練生数 (ASPECT OF IN-PLANT TRAINING)
- ANNEX 6. 卒業者数及びドロップアウト (GRADUATE AND DROP OUT)

REMARKS:

* 募集期間	平成元年 4月10日 ~ 平成元年 5月 4日
* 入学試験 筆記	平成元年 5月15日
* 入学試験 面接	平成元年 5月26日
* ガイダンス	平成元年 6月16日 ~ 平成元年 6月17日
* 入校式・訓練開始	平成元年 6月19日
* 工場内訓練	平成2年 4月 5日 ~ 平成2年 6月 5日
* 修了式	

ANNEX 1.

出身県別応募者数と合格者数
(APPLICANTS AND SUCCESSFUL)

	応募者		合格者		最終合格者		%	
	男性	女性	小計	%	男性	女性		小計
1. Ubon	1,294	36	1,330	89.02	260	12	272	81.65
2. Srisaket			50	3.34	17	-	17	5.19
3. Yasothon			37	2.47	10	-	10	3.05
4. Nakhonratchasima			23	1.53	12	-	12	3.66
5. Roi-Et			18	1.20	8	-	8	2.44
6. Surin			17	1.14	8	-	8	2.44
7. Mookdahan			16	1.07	5	-	5	1.52
8. Buriram			2	0.13	1	-	1	0.30
9. Loey			1	0.06	-	-	0	0
合計			1,494	100.00	321	12	333	100.00

職種別応募者数と合格者数 (合格率)
(THE RATIO OF SUCCESSFUL)

職 種	定員	応 募		競争率	合 格		小計
		男性	女性		男性	女性	
1. Machine	45			4.64	45	-	45
2. Welding	60			2.83	57	-	57
3. Auto-Mechanic	30			7.43	31	-	31
4. Agro-Mechanic	20			3.15	20	-	20
5. Auto-Body Repair	22			2.59	23	-	23
6. Electrics	20			9.7	18	2	20
7. Electronics	20			9.75	17	3	20
8. Air-Conditioning	20			7.25	18	2	20
9. Cabinet Making	24			1.79	25	-	25
10. Painting	30			2.53	29	-	29
11. Plumbing	24			2.16	24	-	24
12. Ceramics	20			3.35	14	5	19
合 計	335			平均 4.46	321	12	333

ANNEX 3.

合格者の学歴レベル

ENROLLMENT LEVEL OF SUCCESSFUL

職 種	入 校 資 格	学 歴 レ ベ ル				合 計	新卒者数
		新制小卒	旧制小卒	新制中卒	旧制中卒		
1. Machine	新制中卒・旧制中卒	40	0	0	0	45	9
2. Welding	新制小卒・旧制小卒	26	0	30	0	31	15
3. Auto-Mechanic	新制小卒・旧制小卒	8	0	18	0	31	4
4. Agro-Mechanics	新制小卒・旧制小卒	13	0	7	0	20	2
5. Auto-Body Repair	新制小卒・旧制小卒	15	0	8	0	23	8
6. Electrics	新制中卒・旧制中卒	18	0	18	0	20	5
7. Electronics	新制中卒・旧制中卒	19	0	19	0	20	4
8. Air-Conditioning	新制中卒・旧制中卒	15	0	15	0	20	6
9. Cabinet Making	新制小卒・旧制小卒	13	0	12	0	25	3
10. Plumbing	新制小卒・旧制小卒	9	0	14	0	24	3
11. Painting	新制小卒・旧制小卒	10	1	18	0	29	7
12. Ceramics	新制中卒・旧制中卒	16	0	16	1	19	1
計		94	1	215	1	333	67
		28.2%	0.3%	64.6%	0.3%	100%	20.1%

⑤旧制から新制への移行は 1977年

応募者の年齢構成比
 APPLICANT'S AGE

	U>15	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	25<0	計
1. Machine	-	12	32	22	37	46	14	16	5	5	3	1	-	193
2. Welding	4	24	28	25	17	17	17	12	5	5	1	-	-	155
3. Auto-Mechanic	4	14	31	33	36	26	32	9	9	5	7	1	-	207
4. Agro-Mechanics	1	3	9	7	8	11	8	5	3	-	2	-	-	57
5. Auto-Body Repair	-	4	10	8	8	5	8	2	3	3	2	-	-	53
6. Electric	20	27	25	18	24	21	21	20	13	3	5	1	-	177
7. Electronics	-	8	21	21	38	31	24	15	10	5	8	-	-	135
8. Air-Conditioning	-	7	15	12	19	28	27	12	8	5	2	-	-	181
9. Cabinet Making	-	3	3	9	7	8	8	1	1	-	-	-	-	40
10. Plumbing	-	3	8	5	12	11	5	2	2	1	-	-	-	49
11. Painting	2	5	12	15	15	10	3	5	3	-	-	2	-	73
12. Ceramics	-	-	4	3	11	14	9	10	4	6	4	3	1	68
計	11	103	200	185	226	231	176	109	66	38	35	8	1	1,388
	0.8%	7.4%	14.4%	13.3%	16.2%	16.6%	12.7%	7.9%	4.8%	2.7%	2.5%	0.5%	0.1%	

工場内訓練派遣先別訓練生数
ASPECT OF IN-PLANT TRAINING

	機械科	溶接科	自動車整備科	農業機械科	車修理科	電氣科	電子科	冷凍空調科	家庭製作科	配管科	塗装科	窯業科	計	備考：労働事務所より出のあった事業所数
A. ISARN AREA														
1. Ubonratchathani	4	10	16	2	16	6	5	10	9	21	9	2	110	157
2. Srisaket	1	3	3	5	1	-	-	1	-	-	-	-	14	10
3. Yasothon	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	10
4. Nakhonratchasima	13	13	2	-	-	8	-	-	1	1	-	-	38	51
5. Roi-Et	-	-	-	2	1	-	2	1	-	-	-	-	6	17
6. Surin	2	5	2	-	-	-	2	1	-	-	-	-	12	20
7. Mukdahan	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	6
8. Buriram	2	-	-	2	2	-	-	-	1	-	-	-	7	15
小計	22	32	27	11	20	14	10	13	11	22	9	2	193	286
B. OUT OF ISARN														
1. Bangkok	-	2	-	-	-	-	1	-	11	-	16	-	30	備考：各民間会社より面接紹介
2. Chonburi	-	-	-	-	-	3	5	2	-	-	-	13	21	
3. Ratburi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
4. Ayutthaya	14	5	-	7	-	-	-	3	-	-	-	-	29	
5. Nonthaburi	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
6. Pathumthani	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
小計	18	10	0	7	0	3	6	5	11	0	16	13	89	
合計	40	42	27	18	20	17	16	18	22	22	25	15	282	

卒業者数及びドロップアウト数
GRADUATE AND DROP OUT

	機械科	溶接科	自動車整備科	農業機械科	車体修理科	電気科	電子科	冷空調科	数作科	配管科	塗装科	窯業科	計	備考
A. 1期生入学生数	45	57	31	20	23	20	20	20	25	24	29	19	333	
B. 10ヶ月訓練終了	40	44	27	18	20	18	16	18	22	22	25	16	266	
C. 工場内訓練生数	40	42	27	18	20	17	16	18	22	22	25	15	282	
D. ドロップアウト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○10ヶ月訓練合格後就職 したは、出元不明・加はは 477797の中心含めた。 (才1班 27名 4名)
※自主退学	4	8	1	1	3	2	1	1	-	1	4	1	27	
※強制退学 ・出席不足 ・態度不良	1	5	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	9	
※病 気	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
※就 職	-	-	-	-	-	-	3	1	3	-	-	3	12	
※結 婚	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
※10ヶ月不合格	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
※勉 学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
※その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
小計	5	15	4	2	3	3	4	2	3	2	4	4	51	

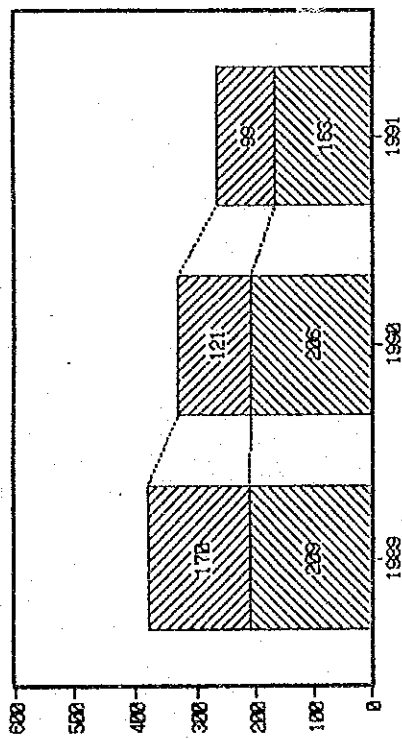
The Number of In-plant trainees Who get a job

Waiting →

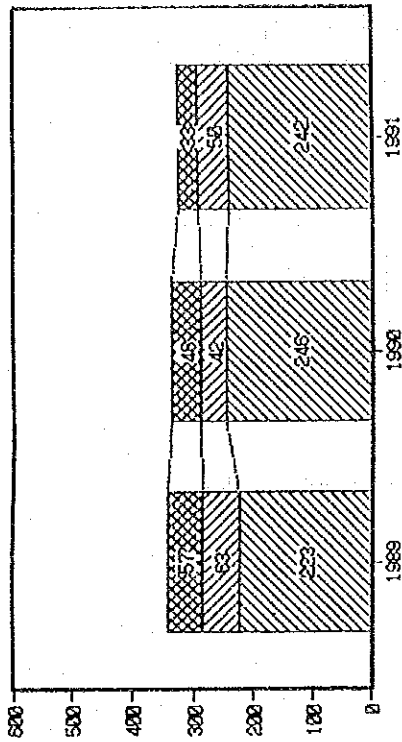
Field	Total No. of In-plant trainees	Pass the training	Can not pass the training	Get a job in the In-plant enterprises	Get a job in other enterprises	Total No. of trainees who get a job	Percentage of trainees who get a job	Unemployed In-plant trainees
1. Machinery	40	37	3	20	16	36	97.29	1
2. Welding	42	41	1	26	1	27	65.85	14
3. Auto mechanic	27	26	1	9	4	13	50.00	13
4. Agro mechanic	18	18	-	10	3	13	72.22	5
5. Auto body repair	20	19	1	12	4	16	84.21	3
6. Electrical	17	17	-	5	2	7	41.17	10
7. Electronics	18	16	-	7	3	10	62.50	6
8. Air conditioning	18	16	2	8	-	8	50.00	8
9. Cabinet making	22	19	3	15	-	15	78.94	4
10. Painting	25	20	5	20	-	20	100.00	-
11. Plumbing	22	22	-	4	3	7	31.81	15
12. Ceramics	15	13	2	13	-	13	100.00	-
Total	282	264	18	149	36	185	70.07	79

Note : Effective on 12 July, 1990
as of 12 Jul. 1990

MACHINERY BRANCH DATA 3-2. 機械別応募者数 (Each Unit of Each Branch)

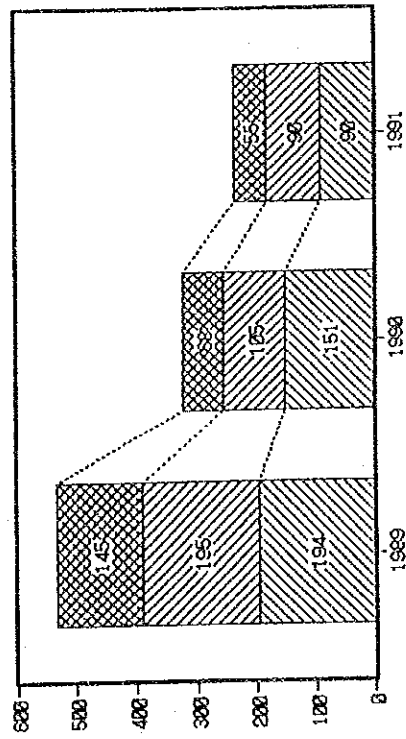


Machine Welding



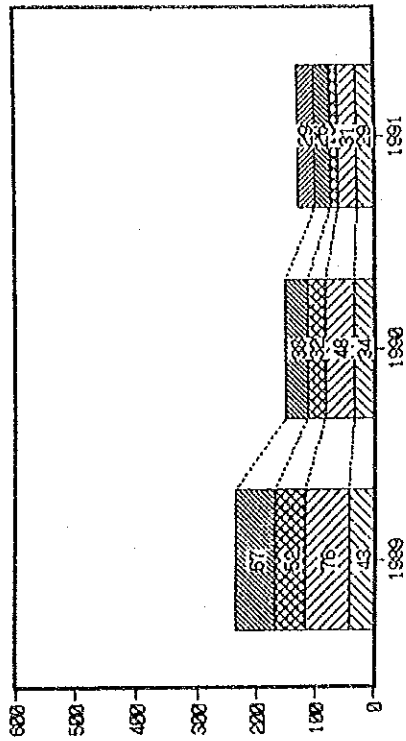
Auto-Mechanics Agro-Mechanics Car Body Repair

ELECTRIC & ELECTRONIC BRANCH



Electronics Air Conditioning Cabinet Making Painting Plumbing

BUILDING CONSTRUCTION BRANCH



Ceramics Assistant FC

JICA